

平成28年度

国立大学法人

# 鳴門教育大学概要

Profile of Naruto University of Education 2016



鳴門教育大学

Naruto University of Education

創設の趣旨・目的	1	Mission and Vision	1
学長メッセージ	2	Message from the President	2
鳴教大 TOP NEWS	4	TOP NEWS	4
沿革	8	Chronicle	9
運営・教育研究組織	10	Administrative Academic Organization	10
役員	12	Executives and Directors	12
役員・職員数	14	The Number of Executives and Staff	14
教育部	16	School	17
附属図書館	18	University Library	18
教職キャリア支援センター	20	Center for Educational Career Development	20
長期履修学生支援センター	20	Center for Three-Year Master Course Study Students	20
地域連携センター	21	Center for Collaboration in Community	21
情報基盤センター	21	Center for Information Technology Services	21
小学校英語教育センター	22	Center for English Language Education at Elementary Schools	22
教員教育国際協力センター	23	International Cooperation Center for the Teacher Education and Training	23
予防教育科学センター	24	Center for the Science of Prevention Education	24
心身健康センター	25	Center for Health and Counseling Services	25
生徒指導支援センター	26	Center for School Support of Guidance and Counseling	26
いじめ防止支援機構	26	Center of Organization for Research and Education (about Bullying Prevention)	26
附属学校	28	University Attached Schools	28
教育課程	30	Academic Programs	31
学生数	32	The Number of Students	32
大学院修了者数	36	The Number of Graduates from the Graduate School	36
学部卒業生数	37	The Number of Graduates from the Undergraduate Programs	37
平成28年度地域別入学状況	38	The Number of Matriculated Students by Areas in 2016	38
平成26年度就職状況	39	Employment of Graduates in Academic Year of 2014	39
収入支出予算額	40	Revenue and Expenditure	40
科学研究費助成事業(平成28年度)	40	Grants-in-Aid for Scientific Research (2016)	40
土地・建物等	41	Land and Buildings	41
国際交流	42	International Exchange Programs	42
施設開放	43	Open Facilities	43
福利厚生施設	43	University Hall and Dormitories	43
建物配置	44	Pictorial Overview and Campus Map	44
位置図	46	Location	46
所在地	47	Address of University and Attached Schools	47
AROUND UNIVERSITY	48	AROUND UNIVERSITY	48

教員には、教育者としての使命感と人間愛に支えられた豊かな教養、教育の理念と方法及び人間性に対する多面的な深い理解並びに教科・領域に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が強く求められている。

本学は、このような社会的要請に基づき、主として現職教員に高度の研究・研鑽の機会を確保する大学院と、初等教育教員及び中学校教員の養成を行う学部をもち、学校教育に関する理論的、実践的な教育研究を進める「教員のための大学」及び学校教育の推進に寄与する「開かれた大学」として昭和56年10月1日に創設された新しい構想の国立大学である。昭和59年4月に大学院（修士課程）の1期生を迎え、学校教育学部の1期生が入学したのは、昭和61年4月である。

平成20年度から、今日の学校と教員を巡る状況を踏まえ、養成すべき教員像を明確にし、専門性と実践力を備えた力量のある教員を養成することとし、新たに専門職学位課程（高度学校教育実践専攻）を教職大学院として設置した。

大学院学校教育研究科「修士課程」において、教科・領域等における専門性を培い、優れた教育実践を展開できる能力を、「専門職学位課程」では、幅広い視点からの問題分析力・対応力・解決力を培い、学校や地域で指導力を発揮できる力量を、それぞれ有する初等中等教育教員を養成することを目的としている。

また、「学校教育学部」においては、幼児・児童・生徒の成長と発達に関する総合的な理解にたち全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員及び中学校教員を養成することを目的としている。



## Mission and Vision

Higher standards for teachers have come to be expected today in Japanese society. As educators, teachers should have not only thorough understanding of the growth and development of human beings but also sufficient knowledge, ideas, background, methods and technique to teach effectively.

Naruto University of Education was established on October 1, 1981 by the Japanese government to respond with a new approach to such social demands. The university is a new kind of University for teachers in that it is designed to retrain teachers from nation-wide schools through advanced course work and research in graduate programs as well as to produce elementary and secondary school teachers in undergraduate programs. In April of 1984, the first students were enrolled into the graduate program. The first students in the school education department entered in April of 1986.

Based on the social expectations for schools and teachers, the University established a new professional degree course as teacher education in 2008 to make investigations on teacher education and to produce the well qualified teachers having specialised knowledge and teaching competence.

Master's program aims to produce elementary and secondary school teachers who have specialized knowledge concerning the areas and subjects and enough teaching competence. Professional degree course aims to produce elementary and secondary school teachers who have problem solving abilities and will be leaders in their schools and societies.

The object of the undergraduate programs (College of Education) is to produce elementary and secondary school teachers who are well qualified for teaching in all areas and subjects on the basis of comprehensive understanding of children's growth and development.



### 鳴門教育大学学章

上部はNarutoのNを、下部はUniversityのUを表しています。  
 上部は鳴門の島々を、下部は動的な海を表しています。  
 3つに分かれた各部分が、職員、学部生、院生を意味し、一体となっている様を表しています。

### The Symbol of Naruto University of Education

The upper part represents N of Naruto and the lower part represents U of University.  
 The upper part symbolizes the islands of Naruto and the lower part the dynamic sea.  
 Each of the three blocks of the symbol signifies the faculty, the undergraduate students, and the graduate students respectively, and the symbol as a whole represents the unity of those three.

# 教員養成のリーダー大学を目指して

学長 山下 一夫  
President YAMASHITA Kazuo  
博士（学術）、臨床心理士  
臨床心理学、生徒指導論  
Ph.D., Certified Clinical Psychologist  
Clinical Psychology, School Counseling and Guidance

## 1 スーパーティーチャーの養成

教員に求められる基盤的な資質能力に付加して社会的ニーズの高い「得意分野」を持つ個性豊かな教員を養成します。

- ◆大学院における「小学校英語教育分野」の新設及び「小学校英語教育センター」の機能強化
- ◆教科内容学を基盤とした初等中等教育の教科指導に強い教員養成モデルカリキュラム及び教材・教具の開発・実践・普及
- ◆大学院における生徒指導に関するカリキュラムの開発及び「生徒指導支援センター」の機能強化
- ◆「チーム学校」時代のスクールリーダー及びスーパールーキー養成のための教職大学院の機能強化

## 2 学び続ける教員の支援

地域の教育課題の解決のために積極的に研修の場を求め教師力の高度化に努める「学び続ける教員」を支援します。

- ◆「サテライト・システム」を活用した県内全域を網羅した新しい現職教員研修システム（鳴教徳島県教員研修システム）の構築
- ◆大学間連携による「いじめ防止支援プロジェクト」の全国展開及び徳島県教育委員会と連携したいじめ防止研修の推進

## 3 グローカル人材としての教育者の養成

地域から全国、世界へとあらゆる場面で力を発揮できる「グローバル人材」としての教員を養成します。

- ◆グローバル教員養成のための学生参加型研修の創設及び教育研究機能の強化
  - ・本学学生の海外大学間交流協定締結校への派遣（短期及び長期）
  - ・本学学生の途上国への派遣及び途上国教員の研修受入れのための「教員教育国際協力センター」の機能充実（JICA 研修活用）
  - ・学生参加型グローバルチュータープログラムの開発・実践（JICA 研修活用）
  - ・地域の国際化への貢献

# 教員就職率 6年連続<sup>(※)</sup> 全国第1位達成!

文部科学省が、平成28年1月29日（金）に公表した、平成27年3月卒業生における大学別就職状況（教員養成課程）において、本学の**学校教育学部**が全国44の国立教員養成大学・学部の中で、教員就職率全国第1位（89.1%）となりました。

平成15年度、学部卒業生の教員就職率は全国48の国立教員養成大学・学部の中で44位でした。しかし、それから大学教育を見直し、それ以後、就職率は向上し、ついに平成22年3月卒業生から通算**6年連続で第1位**になりました。

さらに、本学**教職大学院**も国私立25の教職大学院の中で、**教員就職率100%を達成**し前年に引き続き、**2年連続全国第1位**となりました。

本学では、**就職支援室**、**教職キャリア支援センター**及び**長期履修学生支援センター**（各センターについてはP20参照）や全ての教職員の積極的な取組が行われており、教育指導並びに就職支援体制など教員を目指すための環境が充実しています。

(※)平成22, 23, 24年の3年間の教員就職率（卒業生のうち教員就職者）と、平成25, 26, 27年の教員就職率（卒業生から進学者及び保育士を除く）を通算したもの。

## 高い教員就職率を実現した本学の取組

### 教育課程

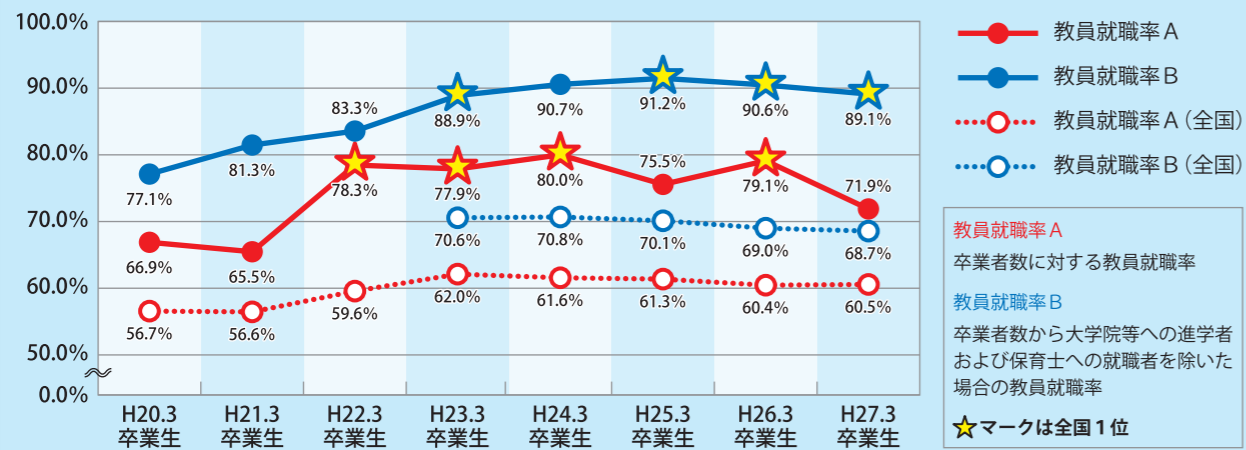
- ①全国のモデルとなる実践的なカリキュラム
- ②国立大学では稀に見る少人数制授業
- ③1年次からの数多くの実習により教育実践力を養成
- ④小中など複数の教員免許状を取得
- ⑤現職教員の大学院生との日常的な意見交換

### 就職支援

- ①教職経験豊富な元公立学校長のアドバイザーによる指導
- ②充実した教員採用対策ガイダンス
- ③教員採用対策としての論文作成におけるきめ細かな指導
- ④卒業生の若手現職教員との意見交換
- ⑤全教員が面接官としての模擬面接、模擬授業を実施



## 鳴門教育大学学校教育学部卒業生の教員就職率の推移（過去8年間）



## 遠隔教育プログラム

インターネットを活用して働きながら学ぶ



本学は平成26年度に「インターネットを用いた遠隔教育によるプログラム」（略称：遠隔教育プログラム）を大学院教育研究科（修士課程）人間教育専攻現代教育課題総合コースに開設しました。

このプログラムは、大学院で学びたいが勤務地を離れることができない現職教員、教育関係者を対象に、教育現場での多様な教育課題について学べるよう、インターネットを活用した遠隔教育システムによる大学院教育を行うものです。これにより、勤務地を離れることなく大学院において学び、修士の学位と専修免許状を取得することが可能です。（延べ21名が学んでいます）

### 平成28年度 在籍生



## 鳴門教育大学サテライト(つながルーム)開設!

テレビ会議システムで離れた場所でもリアルタイムで研修

本学では、学び続ける教員の支援のため、平成27年5月12日(火)に徳島県教育委員会及び阿南・美馬の各市教育委員会の協力を得て、ICTを活用したサテライト研修室「つながルーム」をオープンしています。

つながルームでは、学びたくとも地理的要因等で研修の機会が少ない教員への支援を目的に、実践的な研修、大学授業の配信や相談所としての機能を持たせて集中的・継続的に実施していくことで、**県内の地域教育力の向上を図る**ことを目的としています。また、地域住民に向けての防災教育や公開講座の場としても活用が可能です。



鳴門教育大学とサテライト会場「つながルーム阿南」「つながルーム美馬」をテレビ会議システムでつなぎます。各会場から、遠隔地にあるため研修の機会が少ない教員に対し、様々な研修をリアルタイムで発信します。

### 研修一覧 (平成27年度)

平成27年7月14日	ハイパー QU の効果的な活用について
8月6日	小学校英語の授業づくり
10月22日	ユニバーサルデザインの授業活用
12月14日	算数科・数学科の授業力向上に向けて
平成28年3月11日	家庭学習ノート説明会

### 鳴門教育大学サテライト(つながルーム)ホームページを開設しています。



鳴門教育大学サテライト(つながルーム)ホームページ  
<http://www.naruto-u.ac.jp/research/satellite/>

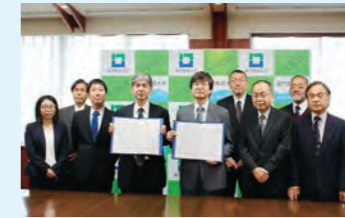
## JICA 四国支部と連携協力事業で覚書調印

本学は、学生を海外に派遣する事業を積極的に進めるとともに、外国人留学生の受入れに限らず、海外の教育関係者の短期研修も実施しており、JICA 受託研修における、長年にわたるこの研修事業の功績に対し、平成25年に国際協力機構(JICA)より、「国際協力感謝賞」を受賞しました。

また、平成27年の教育関連分野(課題別研修、国別研修)におけるJICA 受託研修の受託件数は、「理数科分野の教科書及び教員指導書の改善」や「教材の質の改善(短期) - 第1次第2回 -」など10件で、**日本一**となりました。

平成28年4月21日には、JICA(独立行政法人国際協力機構)四国支部と、開発途上国への国際協力の実施及び国際協力に資する人材の育成等を目的として相互の協力可能な分野において連携を推進するため、連携協力の覚書を締結しました。期間は5年間です。内容は、国際協力に関連する講義等の実施、開発途上国の要請に基づく大学での研修員受入、大学教職員の現地への専門家及び調査団としての派遣などです。

本学で行われた調印式では、高橋政俊JICA 四国支部長と山下一夫学長が出席し、調印。今後の連携協力事業の推進に意欲を示しました。



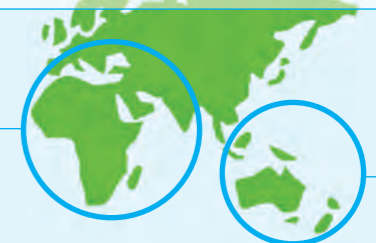
JICA 四国支部並びに本学関係者



模擬授業の様子

### JICA受託研修員受入国 内訳一覧(平成27年度)

アフガニスタン	シリア	イエメン	セーシェル
イラク	セネガル	イラン	チュニジア
エジプト	トーゴ	エチオピア	ニジェール
カメルーン	ブルキナファソ	ケニア	ブルンジ
コートジボワール	ベナン	コモロ	マリ
コンゴ	モザンビーク	ジブチ	南アフリカ



キリバス	クック諸島	サモア	ソロモン
ツバル	トンガ	バヌアツ	バブアニューギニア
パラオ	フィジー	マーシャル	ミクロネシア
ラオス			

## 第19回 環境コミュニケーション大賞優秀賞受賞

本学は、平成23年度よりエコアクション21の取組をまとめた「環境活動レポート」を毎年公表しており、第19回環境コミュニケーション大賞の環境活動レポート部門(応募作107点)で優秀賞を受賞しました。

優秀賞を受賞した平成26年度のレポートでは、教員養成大学としての特性を活かし、大学及び附属学校園の教育・研究をはじめ、環境マインドを持った人材育成の取組状況などを掲載。

これは、本学の5年間の地道なエコに対する取組や教員養成大学らしい人材育成の取組が評価されたものでもあり、今後もPDCAを回していきます。

なお、本学は平成24年度の取組でも奨励賞を受賞しています。



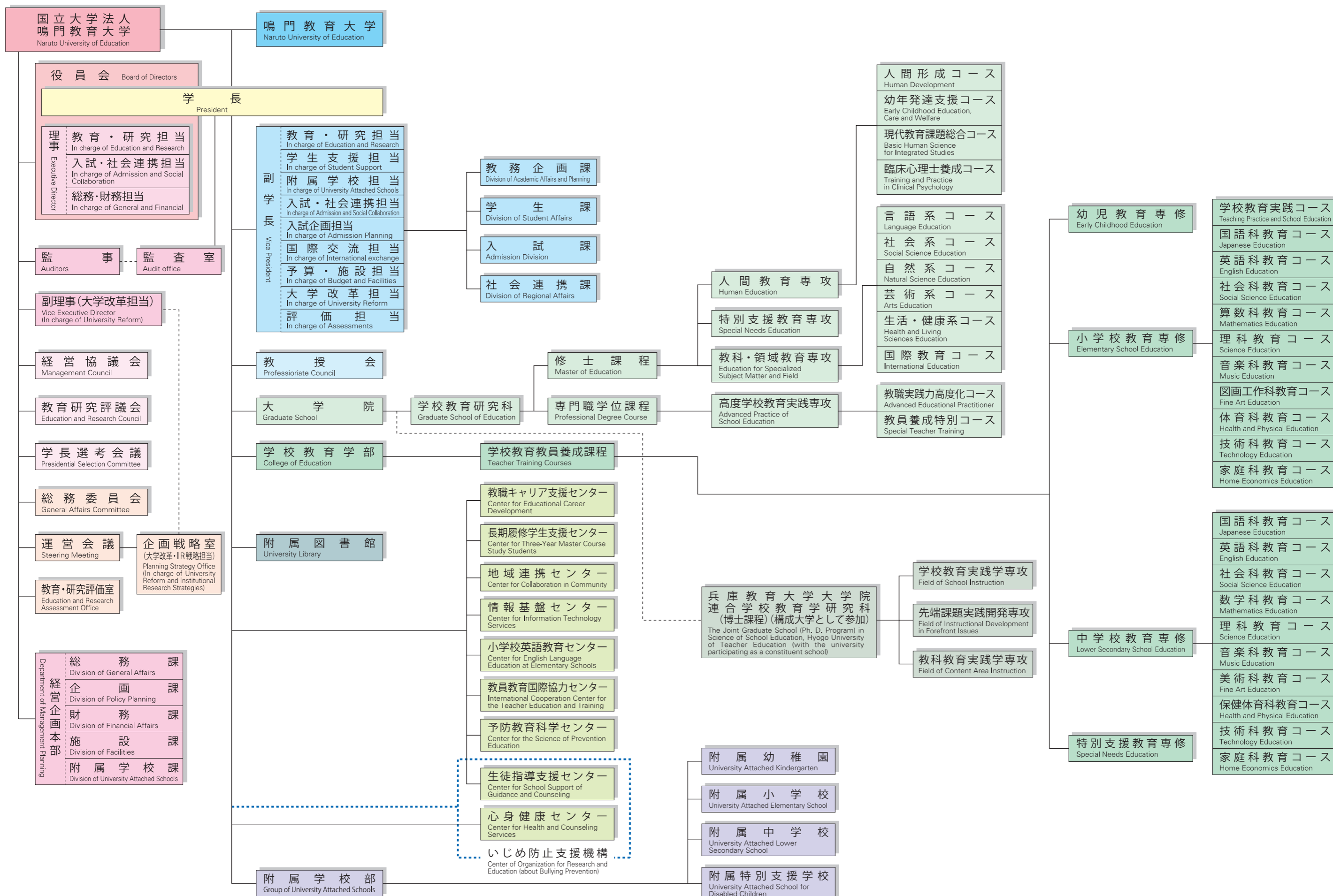
▲授賞式の様子



エコアクション21 環境活動レポート

○昭和49年5月20日	文部省内の「新構想の教員養成大学等に関する調査会」が「教員のための新しい大学・大学院の構想について（報告）」を公表	○平成10年4月1日	学長に溝上泰が就任
○昭和53年11月1日	徳島大学事務局内に「徳島大学鳴門教育大学創設準備室」を設置 室長に山田憲吾徳島大学長が就任	○平成12年4月1日	学校教育学部初等教育教員養成課程、中学校教員養成課程を学校教育学部学校教育教員養成課程に改組（入学定員100人） 学校教育研究センターを学校教育実践センターに改組 附属小学校多目的教室棟しゅん功 大学院学校教育研究科（修士課程）専攻・コースの入学定員を改定
○昭和54年1月10日 ○昭和55年4月3日 ○昭和56年4月14日	室長に岡 芳包徳島大学長が就任 室長に前田嘉明（大阪大学名誉教授）が就任 第94回国会において成立した「国立学校設置法の一部を改正する法律（昭和56年法律第23号）」の公布により、本学が法律上設置 鳴門教育大学設置（開学） 学長に前田嘉明が就任 学校教育学部初等教育教員養成課程を設置（入学定員200人）（昭和61年度から学生受入れ） 事務局を徳島大学事務局構内に設置 人文棟、学生宿舎（単身用1棟、世帯用1棟）しゅん功	○平成13年3月15日 ○平成13年4月1日	○平成13年10月1日 ○平成14年4月1日 ○平成15年10月1日 ○平成16年4月1日
○昭和59年1月10日	大学会館しゅん功 4月1日 大学院学校教育研究科（修士課程）を設置（入学定員150人）、学生受入れ	○平成17年4月1日	○平成17年4月1日
3月15日 4月1日	学校教育専攻 人間形成基礎コース 教育経営コース、教育方法コース 生徒指導コース、幼児教育コース （入学定員80人） 教科・領域教育専攻 言語系コース 社会系コース（入学定員70人） 附属図書館を設置 事務局を人文棟に移転 学校教育研究センターを設置		
4月12日 4月23日	昭和59年度大学院学校教育研究科入学式（第1回）挙行	○平成19年4月1日	○平成19年4月1日
11月30日	学生宿舎2棟（単身用1棟、世帯用1棟）しゅん功		
○昭和60年3月30日 4月1日	本部棟、体育館しゅん功 大学院学校教育研究科（修士課程）入学定員150人を200人に改定	○平成20年4月1日	○平成20年4月1日
〔教科・領域教育専攻自然系コース（入学定員50人）増設〕	5月15日 講義棟しゅん功 9月30日 自然棟しゅん功		
○昭和61年2月27日 3月18日 3月22日	学校教育研究センターしゅん功 学生宿舎（単身棟1棟、世帯用1棟）しゅん功 昭和60年度大学院学校教育研究科（修士課程）学位記授与式（第1回）挙行		
3月28日 4月1日	健康棟、技術棟しゅん功 大学院学校教育研究科（修士課程）入学定員200人を300人に改定	○平成21年1月1日 ○平成22年4月1日	○平成21年1月1日 ○平成22年4月1日
4月10日 4月22日	〔障害児教育専攻（入学定員30人）増設 教科・領域教育専攻芸術系コース（入学定員35人）、生活・健康系コース（入学定員35人）増設〕 昭和61年度学校教育学部入学式（第1回）挙行 学校教育学部附属実技教育研究指導センターを設置 学校教育学部附属小学校、附属中学校、附属養護学校、附属幼稚園を移管	○平成23年4月1日	○平成23年4月1日
9月30日 10月1日	芸術棟しゅん功 開学5周年記念式典挙行	○平成23年10月1日 ○平成24年3月31日	○平成23年10月1日 ○平成24年3月31日
○昭和62年3月10日	附属図書館しゅん功 学生宿舎1棟（単身用）しゅん功 4月1日 学校教育学部中学校教員養成課程を設置（入学定員70人）、学生受入れ	○平成24年5月1日	○平成24年5月1日
5月30日	学校教育学部初等教育教員養成課程入学定員200人を100人に改定 保健管理センターを設置 課外活動共用施設しゅん功 非常勤講師宿泊施設「高島会館」しゅん功	○平成25年4月1日	○平成25年4月1日
○昭和63年3月15日 4月1日	学生宿舎1棟（単身用）しゅん功 学長に今堀宏三が就任	○平成26年2月28日 4月1日	○平成26年2月28日 4月1日
○平成2年3月19日 ○平成3年10月1日 ○平成4年4月1日	平成元年度学校教育学部卒業式（第1回）挙行 開学10周年記念式典挙行 学長に野地潤家が就任		
○平成5年8月31日 11月26日	情報処理センターを設置 附属中学校技術棟しゅん功 講堂しゅん功	○平成27年4月1日	○平成27年4月1日
○平成6年3月30日 10月7日	附属養護学校生活訓練棟しゅん功 情報処理センターしゅん功	5月12日	5月12日
○平成8年4月1日	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）に構成大学として参加	○平成28年2月1日 4月1日	○平成28年2月1日 4月1日
○平成9年4月1日	学長に野地潤家が再任 学生総合相談室を設置		

May 20, 1974	"The Committee for University of Teacher Education with New Idea" at the Ministry of Education, Science and Culture (MESC) prepared the report, "The Concept for New Undergraduate and Graduate University for Teacher Education."	April 1, 1997 April 1, 1998 April 1, 2000	General Counselling Services Office was established. MIZOUE Yasushi took office as the president. The Teacher Training Courses for Kindergarten and Elementary School and Teacher Training Courses for Lower Secondary School reorganized into Teacher Training Courses, College of Education. (Admission 100)
November 1, 1978	"The Office for Arrangement to Establish Naruto University of Education" was set up at the Administration Office of Tokushima University. YAMADA Kengo, the president of Tokushima University, took office as the head of the office.	March 15, 2001	The construction of the building for multipurpose activity was completed at the university attached elementary school. The number of students to be admitted to Courses in Graduate School of Education (Master Course) was changed as follows ; School Education (Admission 140)
January 10, 1979	OKA Yoshiakane, the president of Tokushima University took office as the head of the office.	April 1, 2001	Basic Human Science for Integrated Studies (Admission 30). Education for Disabled Children (Admission 20). Education for Specialized Subject Matter and Field (Admission 140).
April 3, 1980	MAEDA Yoshiaki, the professor emeritus of Osaka University took office as the head of the office.	October 1, 2001 April 1, 2002 October 1, 2003 April 1, 2004	The ceremony for the 20th anniversary of foundation was held. MIZOUE Yasushi was reelected as the president. The National University Corporation Laws were implemented. The National University Corporation Naruto University of Education was formed.
April 14, 1981	"The Act for National School Establishment" was partially changed at the 94th National Diet. Naruto University of Education was established as a legal entity. Naruto University of Education was inaugurated. MAEDA Yoshiaki took office as the president.	April 1, 2005	TAKAHASHI Hajime took office as the president. The following centers were newly established: The Center for English Language Education at Elementary Schools, and the International Cooperation Center for the Teacher Education and Training.
October 1, 1981	The Teacher Training Courses for Kindergarten and Elementary School, College of Education (Admission 200) were set up. (The enrollment started 1986.) The Administration Office was established at the office of Tokushima University.		The following centers were reorganized into new centers: The Research Center for School Education was reorganized into the Center for Collaboration in Community, the Training Center for Practical Skills was reorganized into the Research and Training Center for Practical Skills, the Information Processing Center was reorganized into the Advanced Information Research and Education Center, and the Health Management Center was reorganized into the Research, Education and Management Center for Mental and Physical Health.
January 10, 1984	The construction of the Humanities Hall and two dormitory buildings for single students and students with families were completed.	April 1, 2007	School Guidance and Counseling Training and Practice in Clinical Psychology
March 15, 1984 April 1, 1984	The construction of the University Hall was completed. The Graduate School of Education (Master Course) (Admission 150) was set up. (The enrollment started in the same year.) School Education (Admission 80) Human Development, Educational Administration, Educational Methodology, School Guidance and Counseling, Early Childhood Education Education for Specialized Subject Matter and Field (Admission 70). Language Education, Social Science Education The University Library was established.	April 1, 2008	TAKAHASHI Hajime was reelected as the president. Graduate School of Education Fields of School Education, Special Needs Education, and Education for Specialized Subject Matter and Field were abolished. Human Education, Special Support Education, Education for Specialized Subject Matter and Field at the Graduate School of Education (Master Course) and Advance Practice of School Education at the Graduate School of Education (Professional Degree Course) were instituted. The Teacher Training Courses for College of Education. Special Needs Education was renamed Special Support Education.
April 12, 1984 April 23, 1984	The Administration Office was moved to Humanities Hall. The Research Center for School Education was established. The first entrance ceremony for Graduate School of Education (Master Course) for 1984 academic year was held.	January 1, 2009	The Center for Education and Research on the Science of Preventive Education was constructed. TANAKA Yuzo took office as the president.
November 30, 1984	The construction of two more dormitory buildings for single students and students with families were completed.	April 1, 2010	The Graduate School of Education (Master Course), Education for Specialized Subject Matter and Field International Educational Cooperation Course was renamed International Education Course.
March 30, 1985	The construction of the Administration Hall and the Gymnasium were completed.		The Division of Pre-service Teacher Training of the Center for Collaboration in Community, and the Research and Training Center for Practical Skills, were realigned into the Center for Educational Career Development; and the Division for Collaboration in Policy and Practice of the Center for Collaboration in Community was realigned into the Center for Collaboration in Community.
April 1, 1985	The number of students to be admitted to Graduate School of Education (Master Course) was changed from 150 to 200. The Natural Science Education Course was added to Education for Specialized Subject Matter at Graduate School of Education (Admission 50).	April 1, 2011	The Advanced Information Research and Education Center was realigned into the Center for Information Technology Services; and the Research, Education and Management Center for Mental and Physical Health was realigned into the Center for Health and Counseling Services.
May 15, 1985 September 30, 1985 February 27, 1986	The construction of the Lecture Hall was completed. The construction of the Sciences Hall was completed. The construction of the Research Center for School Education was completed.	October 1, 2011	The Teacher Training Courses of Elementary School Education for College of Education. School Education Course was renamed Field of School Education Course.
March 18, 1986	The construction of two more dormitory buildings for single students and students with families were completed.	March 31, 2012 April 1, 2012	The scientific lecture for the 30th anniversary of foundation was held. The Group of Centers was abolished. The Division of Long-term Student Support was separated from the Center for Educational Career Development and the Center for Long-Term Student Support was established.
March 22, 1986	The first commencement for Graduate School of Education (Master Course) for 1985 academic year was held.	May 1, 2012	The name of the Center for Education and Research on the Science of Preventive Education was changed to the Center for the Science of Preventive Education.
March 28, 1986	The construction of the Health Education Hall and the Technical Service Center were completed.	April 1, 2013	Three courses of Advanced Practice of School Education (Professional Degree Course) of Graduate School of Education (School and Classroom Administration, Practice of School Clinical Psychology, and Practice of Teaching and Curriculum Development) were united into one course and renamed Advanced Educational Practitioner.
April 1, 1986	The number of students to be admitted to Graduate School of Education (Master Course) was changed from 200 to 300. The Education for Disabled Children Course (Admission 30), the Arts Education Course (Admission 35), and the Health and Living Sciences Education Course (Admission 35) were added.	February 28, 2014	The construction of the General Student Services Building (Core Station) was completed.
April 10, 1986	The construction of The first entrance ceremony for College of Education for 1986 academic year was held.	April 1, 2014	TANAKA Yuzo was reelected as the president. The Distance Learning Program was instituted in the field of Human Education of the Graduate School of Education (Master of Education).
April 22, 1986	The Training Center for Practical Skills was established. The University attached schools were set up (Naruto University of Education took charge of former University of Tokushima attached elementary school, lower secondary school, school for disabled children, and kindergarten).	April 1, 2015	The Center for School Support of Guidance and Counseling was established. The Center of Organization for Research and Education (about Bullying Prevention) was established.
September 30, 1986 October 1, 1986 March 10, 1987	The construction of the Arts Hall was completed. The ceremony of the fifth anniversary of inauguration was held. The construction of the University Library was completed. The construction of another dormitory building for single students was completed.	May 12, 2015	Establishment of the satellite training room "Tsunaga-Room" that connects the university with two sites (Anan, Mima) in the prefecture.
April 1, 1987	The Teacher Training Courses for Lower Secondary (Admission 70) was set up in College of Education. (The enrollment started in the same year.)	February 1, 2016 April 1, 2016	Installation of the Learning Commons Room. YAMASHITA Kazuo took office as the president. Establishment of student Consultation Office.
May 30, 1987	The number of students to be admitted to the Teacher Training Courses for Kindergarten and Elementary School, College of Education (undergraduate school) was changed from 200 to 100. The Health Service Center was established.		
March 15, 1988	The construction of the Club House was completed. The construction of the Guest House, Takashima Kaikan was completed.		
April 1, 1988 March 19, 1990	The construction of another dormitory building for single students was completed. IMAHORI Kozo took office as the president. The first commencement for College of Education (undergraduate course) for 1989 academic year was held.		
October 1, 1991 April 1, 1992 April 9, 1992 August 31, 1993	The ceremony for the tenth anniversary of foundation was held. NOJI Junya took office as the president. The Information Processing Center was established. The construction of the Technical building for practice and experiments was completed at the university attached lower secondary school.		
November 26, 1993 March 30, 1994	The construction of the Auditorium was completed. The construction of Training building for daily life practice was completed at the university attached school for disabled children.		
October 7, 1994	The construction of the building for the Information Processing Center was completed.		
April 1, 1996	The university participated as a constituent school in the Joint Graduate School (Ph. D. Program) in the Science of School Education, Hyogo University of Teacher Education. NOJI Junya was reelected as the president.		



**役員 Executives**



**学長**  
President  
**山下 一夫** YAMASHITA Kazuo



**理事・副学長**  
Executive Director, Vice President  
**大石 雅章** OISHI Masaaki



**理事・副学長**  
Executive Director, Vice President  
**佐古 秀一** SAKO Hidekazu



**理事・副学長**  
Executive Director, Vice President  
**岩切 健一郎** IWAKIRI Kenichiro

**監事（非常勤）〔社会福祉法人緑樹会参与〕**  
Auditor (Part-Time) [Social Welfare Individual Group Consultant]  
**監事（非常勤）〔公認会計士〕**  
Auditor (Part-Time) [Certified Public Accountant]

**近藤 芳夫**  
KONDO Yoshio  
**井関佳穂理**  
ISEKI Kahori

**副理事・副学長 Vice Executive Director, Vice President**

**副理事・副学長**  
Vice Executive Director, Vice President  
**梅津 正美**  
UMEZU Masami  
**副学長**  
Vice President  
**田中 弘之**  
TANAKA Hiroyuki  
**副学長**  
Vice President  
**西村 公孝**  
NISHIMURA Kimitaka

**副学長**  
Vice President  
**尾崎 士郎**  
OZAKI Shiro  
**副学長**  
Vice President  
**香西 武**  
KOZAI Takeshi  
**副学長**  
Vice President  
**秋田 美代**  
AKITA Miyo

**部局長等 Academic Chairs**

<b>附属図書館長</b> Director of University Library <b>大石 雅章</b> OISHI Masaaki	<b>長期履修学生支援センター所長</b> Director of Center for Three-Year Master Course Study Students <b>黒川 衣代</b> KUROKAWA Kinuyo
<b>学長補佐</b> Assistant to the President <b>佐藤 勝幸</b> SATO Katsuyuki	<b>地域連携センター所長</b> Director of Center for Collaboration in Community <b>阪根 健二</b> SAKANE Kenji
<b>基礎・臨床系教育部長</b> Dean of School of Basic Research and Improvement of Practice for Education <b>前田 洋一</b> MAEDA Yoichi	<b>情報基盤センター所長</b> Director of Center for Information Technology Services <b>伊藤 陽介</b> ITO Yosuke
<b>人文・社会系教育部長</b> Dean of School of Humanities and Social Sciences Education <b>原 卓志</b> HARA Takuji	<b>小学校英語教育センター所長</b> Director of Center for English Language Education at Elementary Schools <b>石濱 博之</b> ISHIHAMA Hiroyuki
<b>自然・生活系教育部長</b> Dean of School of Natural and Living Sciences Education <b>菊地 章</b> KIKUCHI Akira	<b>教員教育国際協力センター所長</b> Director of International Cooperation Center for the Teacher Education and Training <b>松岡 隆</b> MATSUOKA Takashi
<b>芸術・健康系教育部長</b> Dean of School of Arts and Health Education <b>木原 資裕</b> KIHARA Motohiro	<b>予防教育科学センター所長</b> Director of Center for the Science of Prevention Education <b>山崎 勝之</b> YAMASAKI Katsuyuki
<b>附属学校部長</b> Director of University Attached Schools <b>西村 公孝</b> NISHIMURA Kimitaka	<b>生徒指導支援センター所長</b> Director of Center for School Support of Guidance and Counseling <b>葛西真記子</b> KASAI Makiko
<b>教職キャリア支援センター所長</b> Director of Center for Educational Career Development <b>藤井伊佐子</b> FUJII Isako	<b>心身健康センター所長</b> Director of Center for Health and Counseling Services <b>廣瀬 政雄</b> HIROSE Masao

**部局長等 Academic Chairs**

<b>いじめ防止支援機構長</b> Director of Center of Organization for Research and Education about Bullying Prevention <b>阿形 恒秀</b> AGATA Tsunehide	<b>附属中学校長</b> Principal of University Attached Lower Secondary School <b>野々村拓也</b> NONOMURA Takuya
<b>附属幼稚園長</b> Principal of University Attached Kindergarten <b>佐々木 晃</b> SASAKI Akira	<b>附属特別支援学校長</b> Principal of University Attached School for Disabled Children <b>山越 明</b> YAMAKOSHI Akira
<b>附属小学校長</b> Principal of University Attached Elementary School <b>安田 哲也</b> YASUDA Tetsuya	

**経営協議会委員 Members of the Management Council**

<b>鳴門市長</b> Mayor of Naruto City <b>泉 理彦</b> IZUMI Michihiko	<b>学長</b> President <b>山下 一夫</b> YAMASHITA Kazuo
<b>徳島銀行取締役会長</b> Chairman of the Tokushima Bank <b>柿内 慎市</b> KAKIUCHI Shinichi	<b>理事</b> Executive Director <b>大石 雅章</b> OISHI Masaaki
<b>元・文部科学審議官</b> Former Deputy Minister, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology <b>工藤 智規</b> KUDO Tomonori	<b>理事</b> Executive Director <b>佐古 秀一</b> SAKO Hidekazu
<b>元・全日本中学校長会副会長</b> Former Vice Chairman of All Japan Junior High School Principals' Association <b>齋藤 実徳</b> SAITO Minoru	<b>理事</b> Executive Director <b>岩切健一郎</b> IWAKIRI Kenichiro
<b>株式会社あわわ会長</b> Chairman of AWAWA <b>坂田千代子</b> SAKATA Chiyoko	<b>教授</b> Professor <b>梅津 正美</b> UMEZU Masami
<b>徳島県教育委員会教育長</b> Director of Education Board of Tokushima Prefecture <b>美馬 持仁</b> MIMA Yoshihito	<b>経営企画本部長</b> Director for Department of Management Planning <b>古川 聖登</b> FURUKAWA Masato
<b>徳島新聞社 理事 事業担当 事業局長・地域連携推進室長</b> Executive Director of The Tokushima Shimbun <b>吉村 昇</b> YOSHIMURA Noboru	

**教育研究評議会評議員 Members of the Education and Research Council**

<b>学長</b> President <b>山下 一夫</b> YAMASHITA Kazuo	<b>芸術・健康系教育部長</b> Dean of School of Arts and Health Education <b>木原 資裕</b> KIHARA Motohiro
<b>理事</b> Executive Director <b>大石 雅章</b> OISHI Masaaki	<b>教授</b> Professor <b>小坂 浩嗣</b> KOSAKA Hirotsugu
<b>理事</b> Executive Director <b>佐古 秀一</b> SAKO Hidekazu	<b>教授</b> Professor <b>井上とも子</b> INOUE Tomoko
<b>理事</b> Executive Director <b>岩切健一郎</b> IWAKIRI Kenichiro	<b>教授</b> Professor <b>太田 直也</b> OTA Naoya
<b>副学長</b> Vice President <b>田中 弘之</b> TANAKA Hiroyuki	<b>教授</b> Professor <b>松岡 隆</b> MATSUOKA Takashi
<b>基礎・臨床系教育部長</b> Dean of School of Basic Research and Improvement of Practice for Education <b>前田 洋一</b> MAEDA Yoichi	<b>教授</b> Professor <b>頃安 利秀</b> KOROYASU Toshihide
<b>人文・社会系教育部長</b> Dean of School of Humanities and Social Sciences Education <b>原 卓志</b> HARA Takuji	<b>経営企画本部長</b> Director for Department of Management Planning <b>古川 聖登</b> FURUKAWA Masato
<b>自然・生活系教育部長</b> Dean of School of Natural and Living Sciences Education <b>菊地 章</b> KIKUCHI Akira	

**事務組織等 Administrative Organization**

<b>経営企画本部長</b> Director for Department of Management Planning <b>古川 聖登</b> FURUKAWA Masato	<b>附属学校課長</b> Head for Division of University Attached Schools <b>須藤 紋史</b> SUJUDO Ayafumi
<b>監査室長</b> Head for Audit office <b>川野 茂</b> KAWANO Shigeru	<b>教務企画課長</b> Head for Division of Academic Affairs and Planning <b>中野 宏栄</b> NAKANO Hirohide
<b>総務課長</b> Head for Division of General Affairs <b>阿部 祐一</b> ABE Yuichi	<b>学生課長</b> Head for Division of Student Affairs <b>山村 正和</b> YAMAMURA Masakazu
<b>企画課長</b> Head for Division of Policy Planning <b>栗尾 勇</b> KURIO Isamu	<b>入試課長</b> Head for Admission Division <b>水間 貫了</b> MIZUMA Kanryo
<b>財務課長</b> Head for Division of Financial Affairs <b>富永 洋和</b> TOMINAGA Hirokazu	<b>社会連携課長</b> Head for Division of Regional Affairs <b>藤原 司</b> FUJIWARA Tsukasa
<b>施設課長</b> Head for Division of Facilities <b>田原 一幸</b> TAHARA Kazuyuki	



**役員数** The Number of Executives

学長 1名      理事 3名      監事(非常勤) 2名  
 President 1      Executive Directors 3      Auditors (part-time) 2

**職員数** The Number of Faculty and Staff

(平成28年5月1日現在)  
(May 1, 2016)

区分 Description	教授 Professors		准教授 Associate Professors		講師 Lecturers		助教 Assistant Professor		特命教授 Extraordinary Professor		大学教員 小計 Total		研究員 Researcher		附属学校教員 Teachers at University Attached Schools										事務職員 Administration Office Staff		合計 Total								
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	校(園)長 Principals		教頭 Vice Principals		主幹教諭 Assistant Principals		指導教諭 Advising Teachers		教諭 Teachers		養護教諭 School Nurses		栄養教諭 Nutrition Instructor		男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	計 Total		
															男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female						男 Male	女 Female
大学院学校教育研究科 Graduate School of Education	61	13	36	17	7			1	3	1	107	32																				107	32	139	
教職キャリア支援センター Center for Educational Career Development	(4)	(1)	(5)		(1)						(10)	(1)																				(10)	(1)	(11)	
長期履修学生支援センター Center for Three-Year Master Course Study Students		(1)		(1)							(0)	(2)																			(0)	(2)	(2)		
地域連携センター Center for Collaboration in Community	(1)		(1)		(2)						(4)	(0)																			(4)	(0)	(4)		
情報基盤センター Center for Information Technology Services	(1)		(1)								(2)	0																			(2)	(0)	(2)		
小学校英語教育センター Center for English Language Education at Elementary Schools	(1)		(1)	(1)							(2)	(1)																			(2)	(1)	(3)		
教員教育国際協力センター International Cooperation Center for the Teacher Education and Training	(3)	(1)	(2)						(1)	(1)	(6)	(2)																			(6)	(2)	(8)		
予防教育科学センター Center for the Science of Prevention Education	(3)	(1)		(2)							(3)	(3)																			(3)	(3)	(6)		
生徒指導支援センター Center for School Support of Guidance and Counseling	(5)	(1)	(1)	(1)	(1)						(7)	(2)	1																		1(7)	(2)	1(9)		
心身健康センター Center for Health and Counseling Services	(1)	(1)		(1)							(1)	(2)																			(1)	(2)	(3)		
附属幼稚園 University Attached Kindergarten											0	0			1								2	5		1				(1)	3	6(1)	9(1)		
附属小学校 University Attached Elementary School											0	0			1		1	1					10	12		1		1	(1)	(1)	12(1)	15(1)	27(2)		
附属中学校 University Attached Lower Secondary School											0	0			1		1	1					10	10		1				(1)	13	11(1)	24(1)		
附属特別支援学校 University Attached School for Disabled Children											0	0			1		1			1			10	17		1			(1)	(3)	13(1)	18(3)	31(4)		
事務職員・その他 Administration Office Staff and others					1						1	0																			62	42	63	42	105
合計 Total	61(19)	13(6)	36(11)	17(6)	8(4)	0	0	1	3(1)	1(1)	108(35)	32(13)	1	0	4	0	2	1	2	0	1	0	32	44	0	4	0	1	62(2)	42(6)	212(37)	124(19)	336(56)		

備考：( )内は再掲である。

Note: The numbers in parentheses indicate the personnel who are officially classified to belong to other sections.



総合学生支援棟 (コアステーション)  
General Student Services Building (Core Station)



コアステーション1F 多目的スペース  
Core Station 1F Multipurpose Space

本学の教育研究及び運営を円滑に行うため、学校教育研究科、学校教育教員養成課程及び附属教育研究施設等の関連を配慮し、教員組織として4つの教育部を設けている。

なお、教職キャリア支援センター、長期履修学生支援センター、地域連携センター、情報基盤センター、小学校英語教育センター、教員教育国際協力センター、予防教育科学センター、生徒指導支援センター及び心身健康センターに兼務する教員も、それぞれの学問領域に応じ、いずれかの教育部に属することになっている。

教育部は、教員組織として置き、本学の創設の趣旨・目的に沿い、学校教育における理論的・実践的な教育研究の充実に図り、各関係専門分野の協力体制を確保し、弾力的な運営を図る。



Campus

教 育 部	学 問 領 域
基礎・臨床系教育部	教育学 心理学 医学等
人文・社会系教育部	国語科教育 英語科教育 社会科教育 人間科学等
自然・生活系教育部	数学科教育 理科教育 技術科教育 家庭科教育等
芸術・健康系教育部	音楽科教育 美術科教育 保健体育科教育等

All the academic staff included in Center for Educational Career Development, Center for Three-Year Master Course Study Students, Center for Collaboration in Community, Center for Information Technology Services, Center for English Language Education at Elementary Schools, International Cooperation Center for the Teacher Education and Training, Center for the Science of Prevention Education, Center for School Support of Guidance and Counseling and Center for Health and Counseling Services are members in one of the four schools as shown in the table.

School	
School of Basic Research and Improvement of Practice for Education	Educational Theories and Practices
	Psychology
	Medical science
School of Humanities and Social Sciences Education	Japanese Language Education
	English Language Education
	Social Studies Education
	Human Science
School of Natural and Living Sciences Education	Mathematics Education
	Science Education
	Technology and Information Education
	Home Economics Education
School of Arts and Health Education	Music Education
	Fine Arts Education
	Health and Physical Education



Campus

附属図書館は、教科書、指導書、教育関係資料ほか約33万冊の資料を所蔵している。利用者の教育・研究環境を充実させるため、平日は21時まで開館しており、土曜日、日曜日、祝日（学生休業期間中を除く）も開館し、一般市民にも広く開放している。

図書館ウェブサイトでは、蔵書検索（OPAC）、CiNii、PsycINFO、医中誌 web や約9,000タイトルに上る電子ジャーナルを提供している。

教育関係資料では、国語・教育学分野を中心とした図書（約2万5千冊）を集めた「野地潤家文庫」（野地元学長寄贈）及び著名な教育実践家であった大村はま氏寄贈の学習記録、文献等（約1万冊）を集めた「大村はま文庫」があり、学内外の研究者の利用に供している。

大学図書館では珍しい児童図書室は、学生・子ども・市民の交流の場として広く地域に開かれ、学生ボランティア等による子育て支援活動が行われている。学生にとっては実地教育を通じた学びの場となっている。この活動によって平成24年に全国学校図書館協議会より「学校図書館賞奨励賞」を受賞した。これは大学図書館で初の受賞である。

The University Library stores about 330,000 items of materials including textbooks, teacher's manuals, and materials on education. It is open till 21:00 on a weekday, to provide a good educational and research environment to users. It is also open on Saturday, Sunday and national holidays (except during students' vacation); and is accessible not only to students, but also to the public.

Visitors to the Library's website can use a book search service (OPAC), CiNii, PsycINFO, Ichu-Shi Web, and view about 9,000 titles of electronic journal.

Two collections are available for researchers at and outside the university: One is Noji Junya Collection, which were contributed by the former President Noji and comprises about 25,000 books mainly in Japanese linguistics and pedagogy. The other is Omura Hama Collection, which were contributed by Ms. Hama Omura, a famous educator and comprises about 10,000 items of study records and materials.

The University Library has a section for children, called Children's Library, which is an uncommon feature for this kind of library. Children's Library, designed for exchange among students, children and citizens, is opened to various members of the local community, and serves as a facility for the efforts of student volunteers, etc. to support child rearing. For students, Children's Library represents a good opportunity for practical study. Through this activity, the University Library was awarded the "School Library Prize Award" from the National School Library Association in 2012. This is the first award received by a University Library.



附属図書館  
University Library



ラーニング・コモンズ  
Learning commons

### 利用サービス状況

Overview of library use

(平成27年度)  
(in 2015)

開館日数	Yearly open days	334
入館者数	Yearly admissions	98,719
貸出人数 Yearly checkout by personnel	教職員 Faculty and staff	1,187
	学生 Students	9,317
	一般利用者 Visitors	793
	児童図書室 Children's Library	1,158
	計 Total	12,455
貸出冊数 Yearly checkout by volumes	教職員 Faculty and staff	2,831
	学生 Students	23,401
	一般利用者 Visitors	2,498
	児童図書室 Children's Library	3,967
	計 Total	32,697
文献複写 Photoduplication service requests	受付 Form inside	2,591
	依頼 Form outside	1,423

### 蔵書数

Number of Books

(平成28年3月31日現在)  
(March 31, 2016)

和書 Japanese books	279,706
洋書 Books written in other languages	51,849
計 Total	331,555

### 雑誌種類数

Number of Periodicals

(平成28年3月31日現在)  
(March 31, 2016)

和雑誌 Japanese periodicals	3,131
洋雑誌 Periodicals written in other languages	947
計 Total	4,078



開架閲覧室  
Open Stack System of the Library



野地潤家文庫・大村はま文庫  
Noji Junya Collection, Omura Hama Collection



セミナー室  
Seminar room



児童図書室  
Children's Library

教職キャリア支援センターは、実地教育分野、実技能力支援分野から成り、以下のような業務を行う。

<実地教育分野>

- (1) 実地教育に関する研究並びに実地教育及び介護等体験の実地に関すること
- (2) 実地教育及び介護等体験において学生が抱える問題を解決するための指導助言等に関すること
- (3) その他実地教育及び介護等体験の円滑な履修に必要な措置に関すること

<実技能力支援分野>

- (1) 音楽教育、美術教育、保健体育教育、英語教育に関する実際の・技術的能力、実技指導能力等の教育支援に関すること

The Center for Educational Career Development consists of the Division of Pre-service Teacher Training and the Division of Practical Skills Support, which conduct the following activities.

Division of Pre-service Teacher Training

- (1) Conducting researches on pre-service teacher training and performing activities for pre-service teacher training and nursing care training.
- (2) Giving instructions and advice to the students so that they can solve problems they face in their pre-service teacher training and nursing care training.
- (3) Conducting other activities necessary to facilitate smooth pre-service teacher training and nursing care training.



教育実習事前指導の様子  
Prior meeting of the student teaching

Division of Practical Skills Support

- (1) Giving educational assistance to the development of practical and technical competency and to the training of skills instruction in the educational fields of music, arts, health and sports, and English.

長期履修学生支援センターは、長期履修学生制度により学校教員養成プログラムを受講している学生（以下「長期履修学生」という。）及び教職大学院における小学校教員養成長期プログラムを受講している学生（以下「長期在生」という）に対する支援業務を行うことを目的とし、以下のような業務を行う。

- (1) 長期履修学生の修学指導
- (2) 長期履修学生の教育実習
- (3) 長期履修学生の生活指導
- (4) 学校教員養成プログラムの広報活動
- (5) 長期在生学生の修学支援

The Center for three-year master course study students offers support for students who are in the schoolteacher-training program. It also offers support for students who are on the three-year master's program in the professional graduate school for primary schoolteacher training.

The center offers students support in:

- (1) Scholastic guidance
- (2) Practical teaching
- (3) Lifestyle guidance
- (4) Public relations concerning the schoolteacher-training program
- (5) Learning support for three-year master's course students in the professional graduate school



演習風景  
Exercise Scenery



演習風景  
Exercise Scenery

地域連携センターは、地域に開かれた大学をめざして、地域貢献のみならず、学校教育の活性化と教員の資質向上を図るために、以下のような業務を行う。

- (1) 大学と学校・地域との連携に関する事業の企画・運営
- (2) 学校教育の活性化と教員の資質向上を図るための研究・支援
- (3) 遠隔講義システム（つなぐルーム）を活用した研修支援
- (4) 教師の授業力向上・ICT活用能力向上に関する研究
- (5) 学校防災教育の推進（四国5大学連携防災・減災研究教育協議会）
- (6) 産学官共同研究及び客員研究員との各種研究プロジェクトの推進
- (7) センター紀要等各種広報資料の作成・配布



「つなぐルーム」研修会の様子  
(サテライト教員研修)  
Tsunaga-Room Workshop  
(Satellite teacher training)

The Center for Community Collaboration was opened to facilitate collaboration between the University and the community as well as local schools. The aim is to enrich educational activities and support teacher development and responsibilities include:

- (1) Planning and operating projects for collaboration among the university, schools and community.
- (2) Researching and supporting teacher and educational development.
- (3) Facilitating training through the remote lecture system(Tsunaga-Room).
- (4) Conducting research to improve teachers' instructional ability and ability to use ICT.
- (5) Promoting of school disaster prevention education (Shikoku five universities cooperation disaster prevention and mitigation research and education council).
- (6) Promoting industry-university-government joint researches and various research projects with visiting researchers.
- (7) Preparing and distributing various public relations materials such as bulletins of the centers.

情報基盤センターは、情報システム分野及び情報教育分野から成り、以下のような業務を行う。

<情報システム分野>

- (1) 情報環境改善・整備の推進に関すること
- (2) 学生及び職員の活用支援に関すること
- (3) 学内ネットワークの運営に関すること

<情報教育分野>

- (1) 情報教育のための教育支援に関すること

The Center for Information Technology Services consists of the Division of Information System and the Division of Information Education, which conduct the following activities.

Division of Information System

- (1) Promoting the improvement and development of the information environment.
- (2) Supporting students and staff in the use of the information system.
- (3) Operating the on-campus network.

Division of Information Education

- (1) Supporting information education.



教育用端末室  
Educational Computer Room

小学校英語教育センターは、カリキュラム開発分野、研修・支援プログラム開発分野から構成され、各分野を中心に関連コースとの連携をはかりながら大学全体及び学外に対して以下のような業務を行う。

<カリキュラム開発分野>

- (1) 小学校英語教育指導法に関する研究及び教材開発
- (2) 小学校英語教育カリキュラムに関する研究推進
- (3) 小学校英語教育研究会の開催

<研修・支援プログラム開発分野>

- (1) 外国語活動担当教員研修プログラムの実施
- (2) 外国語活動に関する web や電話等による相談窓口の開設
- (3) 附属学校の授業支援
- (4) 遠隔教育：e-learning のコンテンツ作成及び公開

The Center for English Language Education at Elementary Schools consists of two sections, the Curriculum Development Section and the Teacher Training and Support Section. The center cooperates with related departments to provide the following services:

Curriculum Development Section

- (1) Researching and developing teaching methods or techniques for elementary school children
- (2) Developing curriculum for English language education at elementary schools
- (3) Providing forums for discussion about English language education at elementary schools

Teacher Training and Support Section

- (1) Offering in-service training for teachers
- (2) Giving assistance or counseling on English language education at elementary schools through the Internet or telephone
- (3) Supporting English lessons at the attached elementary school
- (4) Developing and publicizing e-learning material



附属小学校での授業風景  
English lesson at the attached elementary school



教員研修風景  
Workshop for teachers

教員教育国際協力センターは、理数科教育協力研究分野、人材養成協力研究分野、グローバル教員養成プログラム開発分野から成り、主として、次のような業務を行う。

- (1) 理数科教育に関する協力事業の計画・実施に係る研究・開発並びにその成果の蓄積
- (2) 教員養成及び現職教員研修に関する人材養成協力事業の計画・実施に係る研究・開発並びにその成果の蓄積
- (3) 国際感覚を有する教員養成を目指したグローバル教員養成プログラムの開発並びにその成果の蓄積

The International Cooperation Center for the Teacher Education and Training (INCET) has three research divisions and conducts following operations:

- (1) Research and development on planning and conducting of international cooperation projects for science and mathematics education, and accumulation of its knowledge and outcomes.
- (2) Research and development on planning and conducting of international cooperation projects for teacher education and teacher training to enrich human resources, and accumulation of its knowledge and outcomes.
- (3) Development and accumulation of training programs for global teachers who possess international way of thinking.



モザンビーク国別研修「教員養成校における現職教員教授法改善」  
Improvement of teaching methodology of IFPs on In-service education and training in Mozambique



国際教育オープンフォーラム  
International Educational open forum

予防教育科学センターは、いじめ、不登校、抑うつ、生活習慣病などの問題から子どもたちの健康と適応を守るため、新しい学校予防教育を展開しています。

その教育は、トップ・セルフ『いのちと友情』の学校教育」と呼ばれています。エビデンス（科学的根拠）に基づき実施されるこの教育は、健康・適応から学力まで、幅広く子どもたちを守り、育てます。

そして何よりも、子どもたちは、この授業を楽しみにしています！

「子どもたちの笑顔に満ちた未来のために！」 — いっしょに学び、実践しませんか。

センターでは、

- (1) 学校の先生がたのため、研修会を開いています。
- (2) この教育を学校で実践していただいています。
- (3) 国内や海外の研究者や教育者といっしょに、この教育を進めています。



予防教育「感情の理解と対処の育成」の授業光景  
A scene in a class of TOP SELF for the development of understanding and regulating emotions

◇お問い合わせはこちらにどうぞ

電話：088-687-6612 ファックス：088-687-6604

メール：prevent-ctr@naruto-u.ac.jp

ホームページ：「予防教育科学」で検索！

The Center for the Science of Prevention Education has been developing and implementing a new type of school prevention education to protect children's health and adjustment against bullying, school refusal, depression, lifestyle diseases, and so on.

This education is termed "TOP SELF" (Trial Of Prevention School Education for Life and Friendship). Based on scientific evidence, it can educate children for their health, adjustment, and academic performance. We underscore that children are always looking forward to this education in their schools!

"For children's future full of smiles!" - Let's learn and implement this education together.

Our center is very active in:

- (1) Holding training sessions for teachers on a regular basis,
- (2) Having teachers implement this education in schools, and
- (3) Collaborating with domestic and overseas researchers and educators for enhancing this education.



予防教育「自己信頼心（自信）の育成」の授業光景  
A scene in a class of TOP SELF for the development of self-confidence



いじめ予防教育の授業光景  
A scene in a class of TOP SELF for bullying prevention

心身健康センターは、心身医療・健康管理分野及び心理・教育相談分野から成り、以下のような業務を行う。

＜心身医療・健康管理分野＞

- (1) 学生及び職員の心身の健康の保持及び増進に関する研究と教育の実施
- (2) 定期健康診断と救急治療
- (3) 健康相談及び精神保健相談

＜心理・教育相談分野＞

- (1) 心理的問題で悩む幼児・児童・生徒・成人及びその家族に対する臨床心理的サービスの提供
- (2) 学級担任や学校長の求めに応じた、生徒指導上の問題に関する助言
- (3) 大学院生の相談活動に関する教育・訓練の実施
- (4) 就学前教育・学校教育に携わる教員に向けての研修等の活動

The Center for Health and Counseling Services has two divisions, Division for Medical Management of Mental and Physical Health and Division for Educational Guidance, Counseling, and Psychotherapy. Each division performs the following roles.

Division for Medical Management of Mental and Physical Health

- (1) Research and education to improve mental and physical health of the faculty staff and students
- (2) Management for periodic health check-ups and first aid medical treatment
- (3) Counseling for physical and mental health

Division for Educational Guidance, Counseling, and Psychotherapy

- (1) Clinical psychological counseling services to infants, children, students, adults, and their family members who suffer from psychological distress
- (2) Giving advice to homeroom teachers and principals in educational guidance and counseling
- (3) Training and educating graduate school students for the counseling skills
- (4) Planning and providing seminars for pre-school teachers and school teachers



心理・教育相談室  
Counseling Room

心身健康センター  
Center for Health and Counseling Services

生徒指導支援センターは、生徒指導に関する「人材養成」と「相談への対応」を中心とした学校支援を主な目的とし、以下のような業務を行う。

- (1) 学部生、大学院生及び教員の生徒指導力養成カリキュラム及びプログラムの開発
- (2) スクールカウンセラー等の活用モデルの構築
- (3) 職員研修等への講師派遣・資料提供
- (4) 生徒指導相談室を設置し、諸問題に関する学校の先生方からの相談に対応

さらに、生徒指導支援センターと心身健康センターで構成される「鳴門教育大学いじめ防止支援機構」の事業にも関与、いじめ問題の改善に寄与していく。

The main purpose of the Center for School Support of Guidance and Counseling is to support schools in student guidance with the focus on "personnel training" and "consulting".

Among the tasks of the center are:

- (1) Development of curricula and programs for student-support training for undergraduate and graduate students and teachers
- (2) Construction of models utilizing school counselors etc.
- (3) Dispatching of lecturers and providing reference materials to staff-training workshops etc.
- (4) The consulting office for student guidance responds to requests for advice on various issues from school teachers.

In addition, the center is involved in the project of "Center of Organization for Research and Education (about Bullying Prevention)" consisting of the Center for School Support of Guidance and Counseling and the Center for Health and Counseling Services, contributing to the improvement in the bullying problem.



パンフレット  
Pamphlet

**いじめ防止支援機構「BP-CORE」**  
Center of Organization for Research and Education (about Bullying Prevention)

いじめ防止支援機構は、本学の生徒指導支援センターと心身健康センターとで構成され、2つのセンターが連携協力することで、予防から対処までを連動させた新しい取組を行い、いじめ問題の改善に寄与することを目的に設置し、各センターは以下のような業務を行う。

また、「BPプロジェクト（いじめ防止支援プロジェクト）」（次頁参照）にも参画し、他大学とも連携した取組を行う。

<生徒指導支援センター>

教員及び学校の生徒指導力を向上させたいじめ問題に対し適切に対処できる教員養成

<心身健康センター>

いじめ防止支援事業に重要な心理・教育相談分野を担当

The Center of Organization for Research and Education (about Bullying Prevention) (BP-CORE) is constituted by the University Center for School Support of Guidance and Counseling and the Center for Health and Counseling Services, and with the two centers cooperating with each other. The BP-CORE was established for the purpose of developing new approaches to the bullying problem with regards to prevention and treatment. The two centers are to be engaged in the following tasks.

Furthermore, the BP-CORE participates in the "BP Project (Bullying Prevention Support Project)" (see next page) to carry out initiatives for the problem in cooperation with other universities.

<Center for School Support of Guidance and Counseling>

Improvement of the student guidance ability for teachers as well as schools and Training for teachers who can properly cope with bullying

<Center for Health and Counseling Services>

Responsible for psychological and educational counseling in the field of bullying prevention and support.

4 教育大学連携による

**BPプロジェクト** (いじめ防止支援プロジェクト)

本学は、教員養成大学の中で、地域の中核的な位置にあり、いじめ問題に関して特色ある取組を行っている宮城教育大学、上越教育大学、福岡教育大学とともに、平成27年4月20日、「BPプロジェクト（いじめ防止支援プロジェクト）」を発足させました。

このプロジェクトでは国立教育政策研究所や日本生徒指導学会等の関係機関・組織の協力を得て、教育委員会や学校の教育力向上のために、以下の取組を協働参加型プロジェクトとして展開し、いじめ問題の改善に寄与していきます。

本学では、いじめ防止支援機構「BP-CORE」（前頁参照）がこのプロジェクトに主体となって取り組みます。



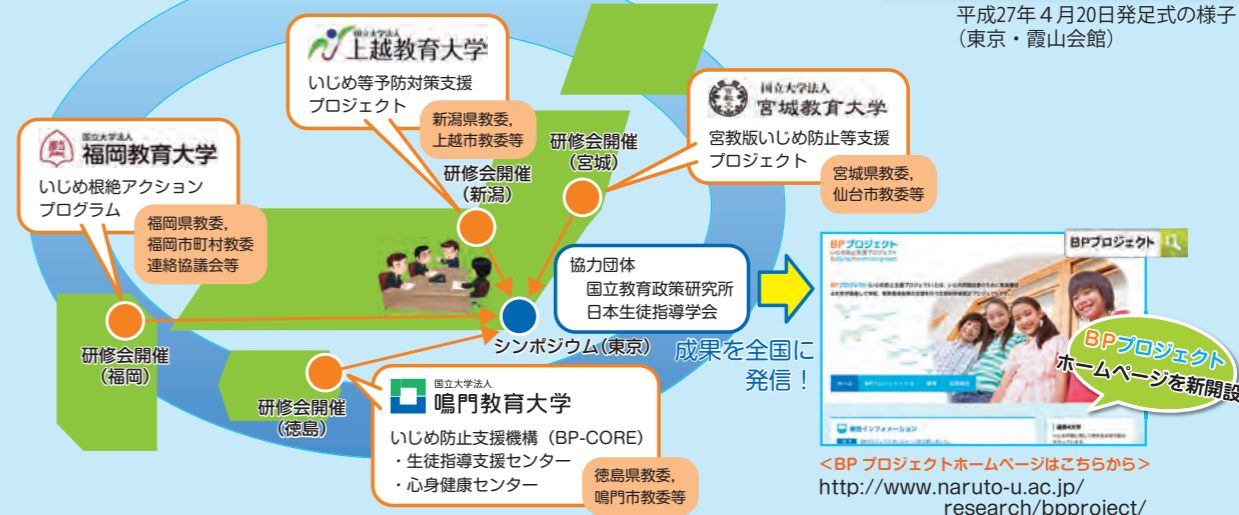
各機関代表者によるディスカッション

～BPプロジェクトの取組～

平成27年4月20日	B Pプロジェクト発足 第1回学長・代表者会議及び第1回協議会合同開催
平成27年8月7日	第2回協議会開催 本学がB Pプロジェクト徳島大会を開催（徳島市）
平成27年9月7日	平成27年度第2回福岡県指導主事等研修会とタイアップし、B Pプロジェクトの紹介といじめ防止の講演などを実施
平成27年10月4日	連携大学担当者間の意見交換会を実施 上越教育大学がいじめ等予防対策支援プロジェクトフォーラムを開催（上越市）
平成27年12月4日	第3回協議会開催 宮城教育大学がいじめ防止研修会を開催（仙台市）
平成28年1月25日	B PリーフレットNo.1（初号）を発行
平成28年2月1日	全国教育長協議会（東京）においてB Pプロジェクトを周知（資料配布）
平成28年2月20日	第2回学長・代表者会議及び第4回協議会合同開催
平成28年2月21日	B Pプロジェクトいじめ防止支援シンポジウムを開催（東京）（左記写真）
平成28年2月28日	福岡教育大学がいじめ防止研修会を開催（宗像市）
平成28年3月	平成27年度B Pプロジェクト事業成果報告書を発行

BPプロジェクト

B P (Bullying Prevention : いじめ防止)



平成27年4月20日発足式の様子  
(東京・霞山会館)



<BPプロジェクトホームページはこちらから>  
<http://www.naruto-u.ac.jp/research/bpproject/>



附属幼稚園  
University Attached Kindergarten



附属小学校  
University Attached Elementary School

附属学校は、大学と一体になって、教育の理論や実践に関する科学研究を行うとともに、大学の計画に従い学生の教育実習等の実施に当たることを目的に、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校及び附属特別支援学校を設置している。

併せて、附属学校においては、幼児の心身の発達を助長する保育、児童生徒の心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育のうちの基礎的な教育、及び小学校における教育の基礎の上に義務教育として行われる普通教育、並びに知的障害のある小学校、中学校、高等学校年齢の児童生徒に対する教育及び自立を図るために必要な知識技能を習得させる実習等を実施している。

附属学校は、大学のある鳴門市の高島キャンパスから20キロほど離れた徳島市内に位置している。

To promote the practical studies at the university in the area of education for infants, pupils, and students and the effective practical training for the university students, the university has a kindergarten, an elementary school, a lower secondary school and a attached for disabled children. These schools provide the education for helping infants' cognitive and physical growth, and, responding to the physical and cognitive developments of the pupils and the students, the basic and regular education among the general education as compulsory education and education for students with intellectual disabilities from elementary school through high school age. These attached schools are located in Tokushima city, 20 kilometers away from the university, the Takashima Campus, in Naruto city.



附属中学校  
University Attached Lower Secondary School



附属特別支援学校  
University Attached School for Disabled Children

(平成28年5月1日現在)  
(May 1, 2016)

区分 School	入学定員 Capacity per Class	総定員 Enrollment Capacity	幼児・児童・生徒数 Currently Filled						
			在(園)者数 Actual Enrollment	1学年 1st Grade	2学年 2nd Grade	3学年 3rd Grade	4学年 4th Grade	5学年 5th Grade	6学年 6th Grade
附属幼稚園 University Attached Kindergarten	3歳児 26 3 Years Class	130	128	3歳児 3 Years Class	4歳児 4 Years Class	5歳児 5 Years Class	/	/	/
	4歳児 26 4 Years Class			26	50	52			
附属小学校 University Attached Elementary School	102	630	609	102	102	99	94	99	113
附属中学校 University Attached Lower Secondary School	160	480	465	159	153	153	/	/	/
附属特別支援学校 University Attached School for Disabled Children	小学部 Elementary	(複式) Combined Class 学級定員 6	18	3	3	3	3	3	3
	中学部 Lower Secondary	6	18	6	6	5	/	/	/
	高等部 Upper Secondary	8	24	24	8	8	8	/	/



附属幼稚園

ひょうげんかい  
Children's Performance day



附属小学校

創立140周年記念「附小ワールド」  
140th Anniversary "Fusho World"



附属中学校

職場体験学習  
Experiences in the workplace



附属特別支援学校

高等部の学習風景  
Studying at Upper Secondary



**大学院学校教育研究科（修士課程）**

区分	内容	修了要件単位数			
		人間教育専攻	特別支援教育専攻	教科・領域教育専攻 国際教育コースを除く	国際教育コース
教職共通科目	現代の教育課題を踏まえ、教育実践の基盤として必要な教職基礎理論を総合的に身に付けることをねらいとする科目として開設する。	4単位	4単位	4単位	—
専門科目	領域等の理論的・専門的知識、教養を身に付けるとともに、教育に関連する実践的・理論的な研究能力を高めることをねらいとする科目として開設する。	12単位	12単位	12単位	12単位
教育実践コア科目	広領域科目 教育課題探究科目	4単位	4単位	2単位	—
	教科内容構成科目	—	—	2単位	—
	教育実践フィールド研究	4単位	4単位	4単位	—
	課題研究	6単位	6単位	6単位	6単位
自由選択科目（備考）		—	—	—	12単位
合計		30単位	30単位	30単位	30単位

備考：自由選択科目は、各専攻の専門科目の授業科目のうちから選択すること。

**大学院学校教育研究科（専門職学位課程）**

区分	内容	修了要件単位数	
		高度学校教育実践専攻 教職実践力高度化コース	教員養成特別コース
共通科目	学校現場における教育課題に対応する5領域について、事例研究等を通して実践的・体系的な知識を習得し、学校における実践場面において、リーダーシップを発揮することのできる教員としての基層的な力量の形成を図る。	18単位	18単位
専門科目	各科目群の専門性に応じた科目を設定し、実習科目との関連を図りながら学校現場の教育課程を理論的・実践的に分析し、専門職としての高度の実践的な問題解決能力・開発能力を育成する。	18単位	16単位
実習科目	共通科目、専門科目で習得をした内容をふまえ、それらの知識、技能等を学校現場で検証、修正していくことを通して、実践と理論の融合を図る。	10単位	12単位
合計		46単位	46単位

**学校教育学部**

区分	内容	学校教育教員養成課程 卒業要件単位数					
		幼児教育専修	小学校教育専修	中学校教育専修		特別支援教育専修	
教養基礎科目	高等学校までの学習で獲得した知識、大学で習得する知識を関連づけ、統合して、現代社会の諸問題に主体的に向き合うことができるようにするための、学問横断的な科目を中心とした「現代社会の諸問題」領域と、心身の健康の獲得及び自己表現力とコミュニケーション能力の習得を目的とした「身体運動・表現コミュニケーション」領域の2領域において、授業科目を開設する。	20単位以上	22単位以上	22単位以上	22単位以上	22単位以上	22単位以上
教育実践コア科目	教科の成立と人間理解を通して、教師という職業について様々な側面から理解し、あるべき教師像を考える「教育実践基礎演習」と、学習指導要領を基盤とする教科内容の柱立ての理解、授業構成や指導方法、子ども理解など、教師として必要な実践的指導力を育成する「教科教育実践」で構成したもので、「教育実習」と並ぶ教育実践のためのコアとなる科目として開設する。	6単位以上	18単位以上	8単位以上	8単位以上	8単位以上	12単位以上
教職共通科目	教職に関する専門科目で、学校教育の理論的・実践的分野に関わる科目を含み、特に子どもとのふれあいを重視するための授業科目として、実地教育を開設する。	65単位以上	52単位以上	55単位以上	55単位以上	51単位以上	49単位以上
専修専門科目	学生の専修・教育コースに応じて、それぞれの分野での指導能力を高め、自分の得意分野を確立し、教育実践・教育研究を進めていく能力と態度を培うための授業科目を開設する。	33単位以上	32単位以上	33単位以上	32単位以上	38単位以上	38単位以上
卒業研究	教養基礎科目、教職共通科目及び専修専門科目などの学習を基に、学校教育の諸問題に対して、その状況を的確に把握・分析し、解決できる能力の育成を図るために、自らが課題を設定して研究を行う。	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位	4単位
合計		128単位以上	128単位以上	128単位以上	128単位以上	128単位以上	128単位以上

備考：小学校教育専修、中学校教育専修及び特別支援教育専修の学生は、この表の教養基礎科目、教育実践コア科目、教職共通科目及び専修専門科目の各欄から、合計124単位以上を修得しなければならない。

**Graduate School of Education (Master of Education)**

Requirements	Contents	Credits Required for Graduation			
		Human Education	Special Needs Education	Education for Specialized Subject Matter and Field	
General Studies of Education	Classes will be offered for students to synthetically obtain basic theories of education required as a basis for educational practice, considering present educational issues.	4 credits	4 credits	4 credits	—
Course Studies	Contents Studies on Education for Specialized Subject Matter and Field	12 credits	12 credits	12 credits	12 credits
	Methodology Studies on Education for Specialized Subject Matter and Field				
Core Studies in Educational Practice	Integrated Studies of Educational Issues	4 credits	4 credits	2 credits	—
	Cross Subject Approach Studies				
	Studies of Subject Content for Educational Practice	—	—	2 credits	—
Field Studies in Educational Practice	Classes will be offered for students to develop their knowledge and perspectives to respond to present educational issues, and to develop cognitive, social and affective skills as key competencies.	4 credits	4 credits	4 credits	—
	Classes will be offered for students to develop their ability to find educational issues related to several subjects and to study such issues. These aim to raise their cross-subject perspectives for education.				
Independent Studies	Classes will be offered for students to understand the meaning of learning subject contents and to learn the ideas and methods of subject studies for educational practice by integrating subject content and related science on the background of the Course of Study. This aims to develop their research skills for educational practice. The classes cover the relationships to Independent Studies, Course Studies, and child development at school.	6 credits	6 credits	6 credits	6 credits
	Classes will be offered for students to form advanced research skills for educational practices, as well as develop collaborative skills for problem-finding and problem-solving through participation in planning educational practices.				
Optional Studies (Note)		—	—	—	12 credits
Total Requirements		30 credits	30 credits	30 credits	30 credits

Note：For Optional Studies, students can choose classes freely out of the classes offered for the category of their majoring field.

**Graduate School of Education (Professional Degree Course)**

Requirements	Contents	Credits Required for Graduation	
		Advanced Practice of School Education	Advanced Educational Practitioner
General Studies	Classes will be offered for students to obtain practical and systematic knowledge about five related fields of educational issues in school situations through case studies, etc., and to form fundamental educational skills as teachers who can exercise leadership in practical school situations.	18 credits	18 credits
Course Studies	Classes will be offered according to the specialty of each course to foster advanced practical abilities of problem-setting and problem-solving through theoretical and practical analyses of educational curriculums in school situations by connecting with Practical Studies.	18 credits	16 credits
Practical Studies	Classes will be offered for students to integrate theory and practice by verifying and reconstructing the knowledge and skills, etc., in school situations which were obtained as the contents learned in General Studies and Course Studies.	10 credits	12 credits
Total Requirements		46 credits	46 credits

**College of Education**

Requirements	Contents	Teacher Training Courses Credits Required for Graduation						
		Early Childhood Education	Elementary School Education		Lower Secondary School Education		Special Needs Education	
Fundamental Studies	The goal is to integrate subject matter previously in studied in high school with new material in University for all core courses such as mathematics, social studies etc. Cross-Disciplinary courses such as Current Social Issues and Communications.	minimum 20 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits	minimum 22 credits
Practical-based Studies	The goal is to develop necessary knowledge and skill for teaching. Subjects such as classroom management, teaching methodology, development of practical teaching skill.	minimum 6 credits	minimum 18 credits	minimum 8 credits	minimum 8 credits	minimum 8 credits	minimum 8 credits	minimum 12 credits
General Studies	Theoretical and practical subjects of school education	minimum 65 credits	minimum 52 credits	minimum 55 credits	minimum 55 credits	minimum 51 credits	minimum 49 credits	minimum 50 credits
Specialty Studies	Classes dealing with practical skills and educational research	minimum 33 credits	minimum 32 credits	minimum 33 credits	minimum 32 credits	minimum 38 credits	minimum 38 credits	minimum 38 credits
Graduation Study	Students conduct their own research projects concerning various issues in school education, under the supervision of professors.	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits	4 credits
Total		minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits	minimum 128 credits

Notes: Students in the Elementary School Education, the Lower Secondary School Education, and the Special Needs Education are required to take 124 or more credits in total from Fundamental Studies, Practical-based Studies, General Studies, and Specialty Studies.

大学院学校教育研究科 Graduate School of Education (平成28年5月1日現在) (April 1, 2016)

区分 Courses and Departments	入学定員 Admission Capacity	1年次 1st grade			2年次 2nd grade			収容定員 Enrollment Capacity	合計 Grand Total					
		在学生数 Number of Students			在学生数 Number of Students				在学生数 Number of Students					
		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total		男 Male	女 Female	計 Total			
人間教育専攻 Human Education	90	人間形成コース Human Development			10	5	15	13	7	20	180	23	12	35
		幼年発達支援コース Early Childhood Education, Care and Welfare			8	2	10	11	5	16		19	7	26
		現代教育課題総合コース Basic Human Science for Integrated Studies			3	4	7	8	6	14		11	10	21
		臨床心理士養成コース Training and Practice in Clinical Psychology			2	3	5	4	4	8		6	7	13
		専攻計 Subtotal			8	9	17	27	13	40		35	22	57
					2	3	5	5	5	10		7	8	15
					5	7	12	20	7	27		25	14	39
					4	4	8	6	4	10		10	8	18
					14	27	41	18	15	33		32	42	74
					3	4	7	3	1	4		6	5	11
特別支援教育専攻 Special Needs Education	20	専攻計 Subtotal			35	45	80	66	41	107	40	101	86	187
					5	8	13	8	6	14		13	14	27
					15	12	27	35	16	51		50	28	78
					4	4	8	6	4	10		10	8	18
					2	12	14	1	9	10		3	21	24
					1	3	4			3		1	6	7
					1	4	5	1	3	4		2	7	9
					1	2	3	5	6	11		6	8	14
								1	2	3		1	2	3
								2		2		2		2
言語系コース(国語) Language Education (Japanese)	140	言語系コース(英語) Language Education (English)			4	10	14	20	15	35	280	24	25	49
		社会系コース Social Science Education			1	2	3	2	4	6		3	6	9
		自然系コース(数学) Natural Science Education (Mathematics)			3	5	8	10	8	18		13	13	26
		自然系コース(理科) Natural Science Education (Science)			15	1	16	21	7	28		36	8	44
		芸術系コース(音楽) Arts Education (Music)			11	1	12	13	3	16		24	4	28
		芸術系コース(美術) Arts Education (Fine Art)			10	1	11	20	6	26		30	7	37
		生活・健康系コース(保健体育) Health and Living Sciences Education (Health and Physical Education)			5		5	11	4	15		16	4	20
		生活・健康系コース(技術・工業・情報) Health and Living Sciences Education (Technology and Information Education)			2	1	3	5		5		7	1	8
		生活・健康系コース(家庭) Health and Living Sciences Education (Home Economics)			1	1	2	3	6	9		4	7	11
		国際教育コース International Education			1	1	2	3	6	9		1	1	2
専攻計 Subtotal	250	専攻計 Subtotal			1	1	2	3	6	9	500	5	5	10
					8	1	9	21	4	25		4	2	6
					5	1	6	15	3	18		20	4	24
					4	1	5	15	1	16		19	2	21
					1	1	2	3	6	9		2	3	5
					3	1	4	7	1	8		2	1	3
					2	2	4	7	1	8		1	6	7
					1	1	2	3	6	9		1	1	2
					5	5	10	3	9	12		5	5	10
					1	3	4	3	3	6		4	6	10
修士課程合計 Total	250	専攻計 Subtotal			50	26	76	119	64	183	500	169	90	259
					2	3	5	5	6	11		7	9	16
					30	13	43	71	30	101		1	1	2
					87	83	170	186	114	300		101	43	144
					8	14	22	13	15	28		273	197	470
					46	29	75	107	49	156		21	29	50
					4	4	8	6	4	10		1	1	2
					4	4	8	6	4	10		153	78	231
												10	8	18

区分 Courses and Departments	入学定員 Admission Capacity	1年次 1st grade			2年次 2nd grade			収容定員 Enrollment Capacity	合計 Grand Total					
		在学生数 Number of Students			在学生数 Number of Students				在学生数 Number of Students					
		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total		男 Male	女 Female	計 Total			
高度学校教育実践専攻 Advanced Practices of School Education	50	教職実践力高度化コース Advanced Educational Practitioner			17	14	31	23	16	39	100	40	30	70
		教員養成特別コース Special Teacher Training			17	14	31	23	16	39		40	30	70
		専攻計 Total			14	7	21	14	6	20				41
					10	3	13					10	3	13
					31	21	52	37	22	59		68	43	111
					17	14	31	23	16	39		40	30	70
					10	3	13					10	3	13
					31	21	52	37	22	59		68	43	111
					17	14	31	23	16	39		40	30	70
					10	3	13					10	3	13
合計 Grand Total	300	合計 Grand Total			118	104	222	223	136	359	600	341	240	581
					25	28	53	36	31	67		61	59	120
					56	32	88	107	49	156		163	81	244
					4	4	8	6	4	10		10	8	18

在学生数  
3年以上の現職教員(内数)  
14条特例措置者(内数)  
学校教員養成プログラム受講者【修士】(内数)又は  
小学校教員養成長期プログラム受講者【専門職】(内数)  
遠隔教育プログラム受講者(内数)

The number in the first column indicates the number of students.  
The number in the second column indicates the number of students with three years or more teaching experience.  
The number in the third column indicates the number of students who are special cases under article 14.  
The number in the fourth column indicates the number of students in the school teacher training program [master] or elementary school teacher training long-term program participants [profession].  
The number in the fifth column indicates the number of students in the Distance Learning Program.

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)(構成大学として参加)  
The Joint Graduate School (Ph. D. Program) in Science of School Education, Hyogo University of Teacher Education (with the university participating as a constituent school)

(平成28年5月1日現在)  
(May 1, 2016)

区分 courses	入学定員 Admission Capacity	収容定員 Enrollment Capacity	在学生数 Number of Students	1年次 1st grade		2年次 2nd grade		3年次 3rd grade	
				男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
学校教育実践学専攻 Field of School Instruction	10	22	44(14)	4	6(2)	5(1)	5(3)	12(3)	12(5)
先端課題実践開発専攻 Field of Instructional Development in Forefront Issues	5	13	21(4)	2	3(2)	3	1	7(1)	5(1)
教科教育実践学専攻 Field of Content Area Instruction	17	45	67(16)	9(5)	8(1)	8	6(1)	20(6)	16(3)
合計 Total	32	80	132(34)	15(5)	17(5)	16(1)	12(4)	39(10)	33(9)

備考:( )内の数は、鳴門教育大学への配属学生数を内数で示す。  
Note: The Numbers in parentheses indicate those of students assigned specifically to Naruto University of Education.



鳴教食堂『渦の里』  
Dining Hall『UZUNOSATO』



マルチメディア教育実習室  
Multimedia Education Practice Room

学校教育学部 College of Education

(平成28年5月1日現在)  
(May 1, 2016)

区	分	入 学 定 員 Admission Capacity	収 容 定 員 Enrollment Capacity	1 年 次 1st grade			区	分	2 年 次 2nd grade			3 年 次 3rd grade			4 年 次 4th grade			計(2~4年次) Total																												
				男	女	計			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計																										
				Male	Female	Total			Male	Female	Total	Male	Female	Total	Male	Female	Total	Male	Female	Total																										
学 校 教 育 専 修 Elementary School Education	幼 児 教 育 専 修 Early Childhood Education	100	360	0	5	5	幼 児 教 育 専 修 Early Childhood Education	0	5	5	0	5	5	0	5	5	0	15	15																											
	小 学 校 教 育 専 修 Elementary School Education			学 校 教 育 実 践 コー ス Teaching Practice and School Education	5	3	8	小 学 校 教 育 専 修 Elementary School Education	学 校 教 育 実 践 コー ス Teaching Practice and School Education	4	4	8	8	1	9	4	4	8	16	9	25																									
	小 学 校 教 育 専 修 Elementary School Education			国 語 科 教 育 コー ス Japanese Education	3	10	13		国 語 科 教 育 コー ス Japanese Education	4	3	7	2	4	6	5	3	8	11	10	21																									
				英 語 科 教 育 コー ス English Education	2	6	8		英 語 科 教 育 コー ス English Education	2	1	3	1	0	1	1	3	4	4	4	8																									
				社 会 科 教 育 コー ス Social Science Education	6	3	9		社 会 科 教 育 コー ス Social Science Education	3	2	5	4	1	5	7	0	7	14	3	17																									
				算 数 科 教 育 コー ス 数 学 科 教 育 コー ス Mathematics Education	8	4	12		算 数 科 教 育 コー ス Mathematics Education	5	1	6	4	2	6	4	1	5	13	4	17																									
				理 科 教 育 コー ス Science Education	6	5	11		理 科 教 育 コー ス Science Education	5	0	5	4	1	5	3	2	5	12	3	15																									
				音 楽 科 教 育 コー ス Music Education	0	8	8		音 楽 科 教 育 コー ス Music Education	1	3	4	0	4	4	0	3	3	1	10	11																									
				図 画 工 作 科 教 育 コー ス 美 術 科 教 育 コー ス Fine Art Education	2	5	7		図 画 工 作 科 教 育 コー ス Fine Art Education	0	3	3	1	2	3	0	2	2	1	7	8																									
				体 育 科 教 育 コー ス 保 健 体 育 科 教 育 コー ス Health and Physical Education	6	4	10		体 育 科 教 育 コー ス Health and Physical Education	6	1	7	3	3	6	2	5	7	11	9	20																									
				技 術 科 教 育 コー ス Technology Education	8	0	8		技 術 科 教 育 コー ス Technology Education	4	0	4	4	0	4	4	0	4	12	0	12																									
				家 庭 科 教 育 コー ス Home Economics Education	0	7	7		家 庭 科 教 育 コー ス Home Economics Education	1	2	3	0	4	4	0	4	4	1	10	11																									
				小 学 校 ・ 中 学 校 専 修 計 Total (Elementary School and Lower Secondary School Education)	46	55	101		小 計 Total	35	20	55	31	22	53	30	27	57	96	69	165																									
				特 別 支 援 教 育 専 修 Special Needs Education	20	2	5		7	中 学 校 教 育 専 修 Lower Secondary School Education	国 語 科 教 育 コー ス Japanese Education	1	4	5	3	2	5	3	2	5	7	8	15																							
				合 計 (1年次) Grand Total (1st)	100	400	48		65	113	中 学 校 教 育 専 修 Lower Secondary School Education	英 語 科 教 育 コー ス English Education	4	3	7	4	3	7	5	3	8	13	9	22																						
				総 合 計 (1~4年次) Grand Total (1st~4th grade)							合 計 (2~4年次) Grand Total (2nd~4th)																																			
											58			58			116			62			49			111			61			58			119			181			165			346		
											23			27			50			28			19			47			29			21			50			80			67			147		
											58			47			105			59			41			100			59			48			107			176			136			312		
											0			6			6			3			3			6			2			5			7			5			14			19		



体育館  
Gymnasium



課外活動共用施設  
Club House



弓道場  
Archery Range



演習風景  
Exercise Scenery



Campus



Campus



Campus



# 大学院修了者数 The Number of Graduates from the Graduate School

区分 Courses and Departments	昭和60年度～平成23年度 1985～2011	24年度 2012	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	累計 Total
<b>学校教育専攻</b> School Education	2,006 1,225					2,006 1,225
人間形成コース Human Development	33 331					33 331
学校改善コース School Improvement	160 197					160 197
授業開発コース Curriculum, Teaching and Learning	5 8					5 8
教育臨床コース Clinical Studies and Practice of Education	388 410					388 410
生徒指導コース School Guidance and Counseling	343 4					343 4
臨床心理士養成コース Training and Practice in Clinical Psychology	678 410					678 410
幼年発達支援コース Early Childhood Education, Care and Welfare	4 3					4 3
総合学習開発コース Basic Human Science for Integrated Studies	58 10					58 10
人間教育専攻 Human Education	216 24	94 10	76 5	86 13	79 11	551 63
人間形成コース Human Development	2 35	2 22	5 11	3 13	7 9	7 90
幼年発達支援コース Early Childhood Education, Care and Welfare	5 19	2 14	2 9	2 10	4 10	4 62
現代教育課題総合コース Basic Human Science for Integrated Studies	2 37	1 16	2 13	1 16	2 19	2 101
臨床心理士養成コース Training and Practice in Clinical Psychology	5 125	2 42	2 43	1 47	2 41	13 298
特別支援教育専攻 Special Needs Education	6 344	7 13	9 18	3 12	5 14	6 401
教科・領域教育専攻 Education for Specialized Subject Matter and Field	1,164 118	109 13	120 13	121 9	119 18	3,183 1,217
言語系コース Language Education	639 338	23 3	32 5	25 3	33 7	752 356
社会系コース Social Science Education	35 485	2 22	1 18	1 17	2 15	41 557
自然系コース Natural Science Education	196 13	2 2	3 3	3 1	3 1	201 19
芸術系コース Arts Education	513 227	17 2	19 1	30 3	16 2	595 235
生活・健康系コース Health and Living Sciences Education	27 542	2 19	1 19	1 18	2 25	28 623
国際教育コース International Education	182 21	3 2	3 3	1 1	4 3	193 30
高度学校教育実践専攻 Advanced Practice of School Education	524 221	21 3	27 4	24 2	19 1	615 231
学校・学級経営コース School and Classroom Administration	12 11	5 7	5 5	3 7	3 11	27 41
学校臨床実践コース Practice of School Clinical Psychology	10 128	6 39	5 39	3 41	3 37	27 284
授業実践・カリキュラム開発コース Practice of Teaching and Curriculum Development	107 39	33 11	28 10	33 10	29 10	230 60
教職実践力高度化コース Advanced Educational Practitioner	34 34	8 8	7 7	7 7	7 7	49 49
教員養成特別コース Special Teacher Training	34 34	14 14	11 11	11 11	8 8	59 59
合計 Total	5,408 2,650 159	255 63 14	253 55 17	260 58 10	249 63 9	6,425 2,889 209

修了者数  
The number in the first column indicates those who graduate.  
経験年数3年以上の現職教員(内数)  
The number in the second column indicates those who have teaching experience longer than three years.  
外国人留学生(内数)  
The number in the third column indicates the students from foreign countries.



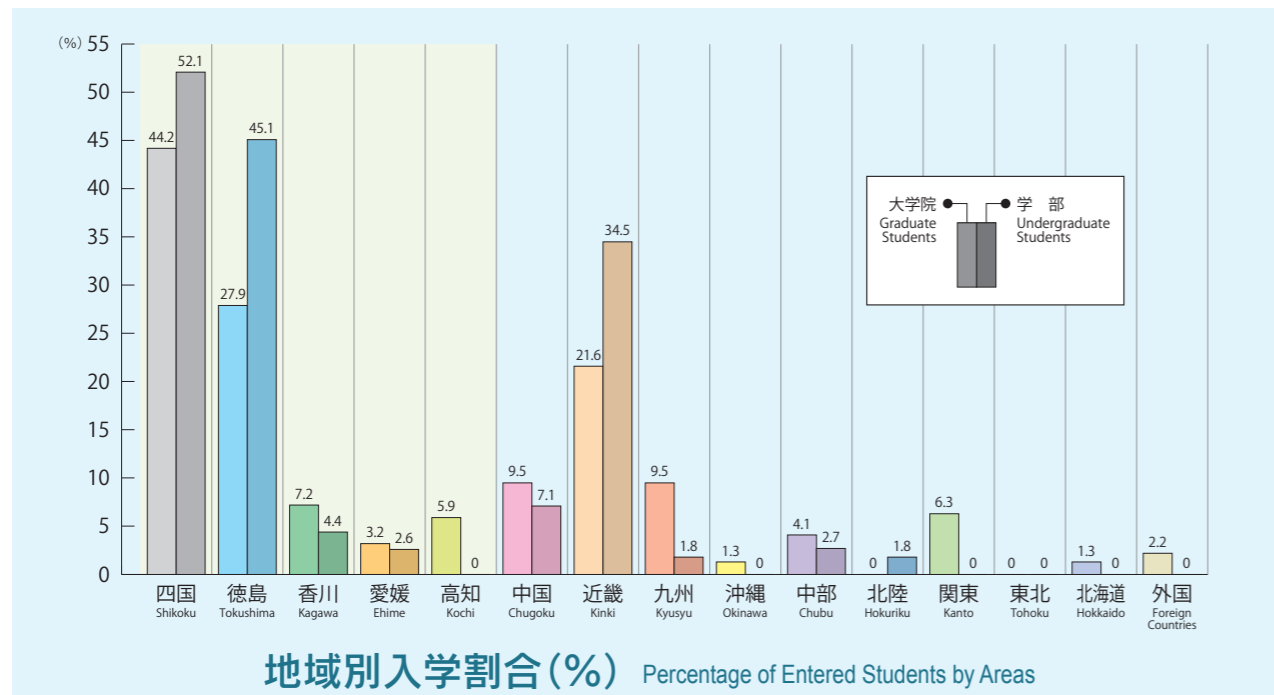
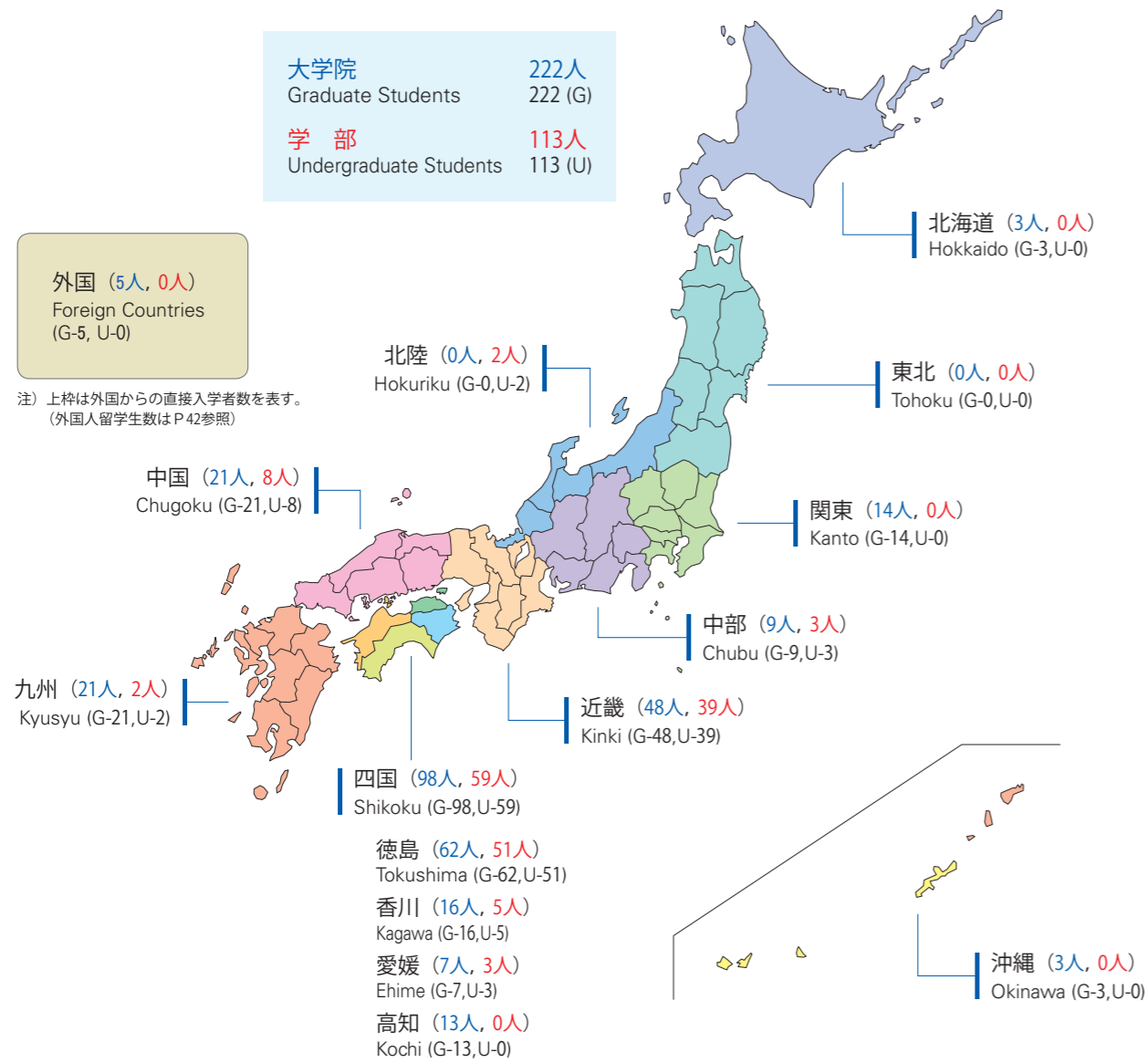
# 学部卒業生数 The Number of Graduates from the Undergraduate Programs

区分 Courses	元年度～23年度 1989-2011	24年度 2012	25年度 2013	26年度 2014	27年度 2015	累計 Total
<b>学校教育専修</b> Elementary School Education	250					250
幼児教育専修 Early Childhood Education	86					86
言語系(国語科)教育コース Language Education (Japanese)	210					210
社会系(社会科)教育コース Social Science Education	198					198
自然系(算数科)教育コース Natural Science Education (Mathematics)	184					184
自然系(理科)教育コース Natural Science Education (Science)	151					151
芸術系(音楽科)教育コース Arts Education (Music)	122					122
芸術系(図画工作科)教育コース Arts Education (Fine Art)	100					100
生活・健康系(体育科)教育コース Health and Living Science Education (Health and Physical)	131					131
生活・健康系(家庭科)教育コース Health and Living Science Education (Home Economics)	76					76
計 Total	1,508					1,508
言語系(国語科)教育専攻 Language Education (Japanese)	102					102
言語系(英語科)教育専攻 Language Education (English)	100					100
社会系(社会科)教育専攻 Social Science Education	107					107
自然系(数学科)教育専攻 Natural Science Education (Mathematical)	103					103
自然系(理科)教育専攻 Natural Science Education (Science)	102					102
芸術系(音楽科)教育専攻 Arts Education (Music)	78					78
芸術系(美術科)教育専攻 Arts Education (Fine Art)	81					81
生活・健康系(保健体育科)教育専攻 Health and Living Science Education (Health and Physical)	95					95
生活・健康系(技術科)教育専攻 Health and Living Science Education (Technology)	94					94
生活・健康系(家庭科)教育専攻 Health and Living Science Education (Home Economics)	82					82
計 Total	944					944
計 Total	2,452					2,452
幼児教育専修 Early Childhood Education	53	5	5	5	5	73
学校教育コース School Education	69	10	7	—	—	86
学校教育実践コース Teaching Practice and School Education	—	—	—	8	8	16
国語科教育コース Japanese Education	71	9	8	7	7	102
英語科教育コース English Education	30	3	5	5	2	45
社会科教育コース Social Science Education	51	4	6	4	4	69
算数科教育コース Mathematics Education	56	7	7	5	3	78
理科教育コース Science Education	45	3	6	7	5	66
音楽科教育コース Music Education	28	3	4	3	4	42
図画工作科教育コース Fine Art Education	24	2	3	5	4	38
体育科教育コース Health and Physical Education	49	7	5	6	6	73
技術科教育コース Technology Education	29	4	4	4	2	43
家庭科教育コース Home Economics Education	32	4	3	4	5	48
国語科教育コース Japanese Education	46	5	5	5	5	66
英語科教育コース English Education	46	5	6	4	5	66
社会科教育コース Social Science Education	52	6	7	5	6	76
数学科教育コース Mathematics Education	52	6	6	6	7	77
理科教育コース Science Education	47	6	3	7	5	68
音楽科教育コース Music Education	34	3	3	5	3	48
美術科教育コース Fine Art Education	33	2	3	4	2	44
保健体育科教育コース Health and Physical Education	37	3	3	3	3	49
技術科教育コース Technology Education	33	4	4	3	4	48
家庭科教育コース Home Economics Education	34	4	4	3	4	49
障害児教育専修 Special Needs Education	48	—	—	—	—	48
特別支援教育専修 Special Needs Education	—	5	5	6	5	21
計 Total	999	110	112	114	104	1,439
合計 Grand Total	3,451	110	112	114	104	3,891



# 平成28年度地域別入学状況

## The Number of Matriculated Students by Areas in 2016



# 平成26年度就職状況

## Employment of Graduates in Academic Year of 2014

### 大学院修了者 Graduates from the Graduate School in Academic Year of 2014 (平成27年9月30日現在)

(September 30, 2015)

区分	修了者数	教員就職者						小計	教員以外の就職者	進学者	その他
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他				
学校教育研究科	202	2(2)	61(32)	22(13)	19(13)	11(9)	1(1)	116(70)	64	5	17

備考：現職教員を除く。( ) 内の数は、期限付教員を内数で示す。  
Note: Teachers in active service are excluded. The number in parentheses shows the number of part time teachers.

### 学部卒業生 Graduates from the Undergraduate Programs in Academic Year of 2014 (平成27年9月30日現在)

(September 30, 2015)

区分	卒業生数	教員就職者						小計	保育士	教員・保育士以外の就職者	進学者	その他
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他					
学校教育学部	114	5(1)	48(12)	20(13)	5(4)	4	82(30)	0	6	22	4	

備考：( ) 内の数は、期限付教員を内数で示す。  
Note: The number in parentheses shows the number of part time teachers.

※平成28年3月卒業生及び修了者の就職状況については、平成28年9月30日に確定します。

The employment rate of graduates from our university and graduate school as of March 2016 will be published on September 30, 2016.



コアステーション1F 就職支援室  
Core Station 1F Employment Support Office

模擬授業  
Trial Lesson

平成28年度予算

(単位：百万円)

区分	金額	区分	金額
収入		支出	
運営費交付金	3,322	業務費	4,109
施設整備費補助金	78	教育研究経費	4,109
補助金等収入	13	施設整備費	103
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	25	補助金等	13
自己収入	724	産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	102
授業料、入学金及び検定料収入	645		
財産処分収入	0		
雑収入	79		
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	102		
目的積立金取崩	63		
計	4,327	計	4,327

[人件費の見積り] 期間中総額3,083百万円を支出する(退職手当は除く)。

科学研究費助成事業 (平成28年度)  
Grants-in-Aid for Scientific Research (2016)

平成28年度採択状況 (2016)

(平成28年5月1日現在)  
(May 1, 2016)

研究種目 Research Areas	申請件数 Number of Proposals	採択件数 Number of Accepted Proposals	採択率 Acceptance Rate	交付額 Granted Amounts	
				直接経費 Direct Expenses	間接経費 Indirect Expenses
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	1	1	100.0	47,200,000	14,160,000
基盤研究 (A) Grant-in-Aid for Scientific Research (A)	1	0	0.0	—	—
基盤研究 (B) Grant-in-Aid for Scientific Research (B)	4	1	25.0	1,800,000	540,000
基盤研究 (C) Grant-in-Aid for Scientific Research (C)	53	29	54.7	26,200,000	7,860,000
挑戦的萌芽研究 Grant-in-Aid for Challenging Exploratory Research	6	1	16.7	1,000,000	300,000
若手研究 (B) Grant-in-Aid for Young Scientists (B)	11	8	72.7	5,400,000	1,620,000
研究活動スタート支援 Grant-in-Aid for Research Activity Start-up	1	—	—	—	—
小計	77	40	51.9	81,600,000	24,480,000
奨励研究 Grant-in-Aid for Encouragement of Scientists	9	0	0.0	—	—
合計	86	40	46.5	81,600,000	24,480,000

\*申請件数及び採択件数は、継続分と新規分を合わせた数とする。  
\*申請件数及び採択件数には、転出者1名を含む。  
\*研究活動スタート支援の採択結果は8月下旬となる。

区分 Description	土地 (m <sup>2</sup> ) Land (m <sup>2</sup> )	建物 (延面積 m <sup>2</sup> ) Building (Total area, m <sup>2</sup> )	
学校教育学部 College of Education	238,207	人文棟 Humanities Hall	7,243
		自然棟 Sciences Hall	7,535
		技術棟 Technical Service Center	209
		健康棟 Health Education Hall	2,594
		芸術棟 Arts Hall	5,742
		講義棟 Lecture Hall	3,719
		附属図書館 University Library	3,138
		総合学生支援棟 (コアステーション) General Student Services Building (Core Station)	1,833
		本部 Administration Hall	2,458
		地域連携センター Center for Collaboration in Community	2,436
		体育館 Gymnasium	2,274
		課外活動共用施設 Club House	505
		講堂 Auditorium	1,085
		大学会館 University Hall	1,840
		非常勤講師宿泊施設 Guest House	426
		艇庫 Boathouse	99
		設備棟 Maintenance Building	595
		情報基盤センター Center for Information Technology Services	480
		弓道場 Archery Range	128
		その他 Others	760
計 Total		45,099	
学生宿舎 Dormitories	26,413	学生宿舎 Dormitories	11,085
		その他 Others	80
計 Total		11,165	
職員宿舎 Residence for faculty and staff	11,754	職員宿舎 Residence	8,251
		その他 Others	64
計 Total		8,315	
附属幼稚園 University Attached Kindergarten	2,122	園舎 Schoolhouse	884
		その他 Others	0
計 Total		884	
附属小学校 University Attached Elementary School	20,373	校舎 Schoolhouse	5,575
		体育館 Gymnasium	963
		その他 Others	143
計 Total		6,681	
附属中学校 University Attached Lower Secondary School	18,001	校舎 Schoolhouse	4,863
		体育館 Gymnasium	1,071
		その他 Others	132
計 Total		6,066	
附属特別支援学校 University Attached School for Disabled Children	8,843	校舎 Schoolhouse	3,898
		体育館 Gymnasium	420
		その他 Others	157
計 Total		4,475	
合計 Grand Total	325,713		82,685



人文棟  
Humanities Hall



自然棟  
Sciences Hall



芸術棟  
Arts Hall



健康棟  
Health Education Hall

大学間交流協定締結校 Agreement of International Academic Exchange (平成28年5月1日現在) (May 1, 2016)

国名 Names of Countries	大学名 Names of Universities	協定締結年月日 Dates of Agreement	国名 Names of Countries	大学名 Names of Universities	協定締結年月日 Dates of Agreement
大韓民国 Korea	京仁教育大学校 Gyeongin National University of Education	平成7年5月11日 May 11, 1995	タイ王国 Thailand	コンケン大学 Khon Kaen University	平成18年3月6日 March 6, 2006
アメリカ合衆国 United States of America	ピュージェット・サウンド大学 University of Puget Sound	平成7年7月28日 July 28, 1995	アメリカ合衆国 (コンソーシアム) United States of America	ノースカロライナ大学ウィルミントン校 University of North Carolina at Wilmington	平成18年7月7日 July 7, 2006
中華人民共和国 China	南開大学 Nankai University	平成8年5月7日 May 7, 1996		イーストカロライナ大学 East Carolina University	
大韓民国 Korea	釜山大学校師範大学・教育大学院 College of Education and Graduate School of Education at Pusan National University	平成11年3月31日 March 31, 1999		ウェスタンカロライナ大学 Western Carolina University	
中華人民共和国 China	青島大学 Qingdao University	平成12年8月1日 August 1, 2000	台湾 Taiwan	台北市立大学 University of Taipei	平成22年9月3日 September 3, 2010
南アフリカ共和国 South Africa	プレトリア大学 University of Pretoria	平成14年7月17日 July 17, 2002	大韓民国 Korea	光州教育大学校 Gwangju National University of Education	平成23年5月23日 May 23, 2011
タイ王国 Thailand	シーナカリンウィロート大学 Srinakharinwirot University	平成15年6月20日 June 20, 2003	フィンランド共和国 Finland	タンペレ大学教育学部 School of Education University of Tampere	平成26年9月26日 September 26, 2014
中華人民共和国 China	北京師範大学 Beijing Normal University	平成16年9月27日 September 27, 2004			

協定締結校との学生短期留学状況  
The Number of Exchange Students to and from Sisters Universities

区分 Description	平成24年度まで ~2012		平成25年度 2013		平成26年度 2014		平成27年度 2015		累計 Total	
	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch	受入 Admittance	派遣 Dispatch
京仁教育大学校 Gyeongin National University of Education	31	15							31	15
南開大学 Nankai University	15	12							15	12
釜山大学校師範大学・教育大学院 College of Education and Graduate School of Education at Pusan National University	2	1							2	1
青島大学 Qingdao University	11		2		2		2		17	0
プレトリア大学 University of Pretoria	6	2	1						7	2
シーナカリンウィロート大学 Srinakharinwirot University	13		2		2		2		19	0
北京師範大学 Beijing Normal University	3	1							3	1
コンケン大学 Khon Kaen University	9	2	1				1		11	2
イーストカロライナ大学 East Carolina University		2							0	2
ウェスタンカロライナ大学 Western Carolina University	1	2		1		1		1	1	5
台北市立大学 University of Taipei	2		1		2		1		6	0

外国人留学生 Foreign Students (平成28年5月1日現在) (May 1, 2016)

区分 Description	タイ Thailand	中国 China	インドネシア Indonesia	フィリピン Philippines	ラオス Laos	ブラジル Brazil	メキシコ Mexico	ブルキナファソ Burkina Faso	パプアニューギニア Papua New Guinea	計 Total
大学院学生 Graduate Students		1								1
博士課程 Doctor's Course										
修士課程 Master's Course		14							3	17
教員研修留学生 Teacher Trainees			2	1	1	1	1	1		7
研究生 Research Students		1								1
大学院 Graduate										
学部 Undergraduate		4								4
特別聴講学生 Exchange Students	3	2								5
科目等履修生 Credit-seeking Students										0
合計 Total	3	22	2	1	1	1	1	1	3	35

備考：博士課程は本学に付属された兵庫教育大学大学院連合学校教育科学研究科学生である。

地域社会における体育活動に役立てていただくため、昭和62年度から体育施設を開放している。  
Some of the university facilities have been opened to people who live in this area since 1987.

開放状況 (平成27年度)

施設名	件数	時間数
テニスコート	59	91
野球場	13	84.5
体育館(柔道場)	10	56
陸上競技場	0	0

Overview of the Use of the Facilities in Academic Year of 2015

Facilities	Number of uses	Total hours
Tennis courts	59	91
Baseball field	13	84.5
Gymnasium (Jyudo)	10	56
Athletics field	0	0

福利厚生施設 University Hall and Dormitories

大学会館 University Hall

学生及び教職員の福利厚生に資するとともに、学生の課外活動を促進するために大学会館を設置している。

University Hall is established for the convenience and recreation of the students and staff, and for the promotion of the students' extracurricular activities.

階別 Floor and Total Area	室名 Name of Provision	室面積 Area	内容 Description
1階 1st floor 延739m <sup>2</sup>	第1食堂 1st cafeteria	391m <sup>2</sup>	朝・昼・夜の食事等 (298席) Serving breakfast and lunch (298 seats).
2階 2nd floor 延650m <sup>2</sup>	売店 Shop	176m <sup>2</sup>	書籍・文具類・日用品・食料品・コピーサービス等 Book, stationery, notions, and grocery. Available Photoduplication services.
	第2食堂 2nd cafeteria	75m <sup>2</sup>	予約営業 For banquet
3階 3rd floor 延405m <sup>2</sup>	第1集会室 1st conference room	35m <sup>2</sup>	課外活動・研究会等 Club activities, Seminars
	第2集会室 2nd conference room	43m <sup>2</sup>	課外活動・研究会等 Club activities, Seminars
	第3集会室 3rd conference room	77m <sup>2</sup>	課外活動・研究会等 Club activities, Seminars
	第4集会室(和室) 4th conference room (Japanese style)	56m <sup>2</sup>	課外活動・研究会等 Club activities, Seminars



大学会館  
University Hall

学生宿舎 Dormitories

学生の勉学のための生活環境を提供するために、学生宿舎を設置している。  
Dormitories are available for the convenience of students.

区分 Dormitories for	棟数 No. of Bldgs.	室(戸)数 No. of Rooms	1室(戸)当たり面積 Area/Room	寄送料(月額) Rental fee (monthly)
単身用学生宿舎(男子) Single men	2	160室	約 10m <sup>2</sup>	4,300 円
単身用学生宿舎(女子) Single women	3	240室	約 10m <sup>2</sup>	4,300 円
世帯用学生宿舎 Students with families	1	40戸	約 40m <sup>2</sup>	9,500 円
	1	40戸	約 52m <sup>2</sup>	11,900 円

備考：寄送料は、平成28年4月1日現在  
Note: Rental fee rate on April 1, 2016



学生宿舎  
Dormitories

- ① 人文棟  
Humanities Hall
- ② 自然棟  
Sciences Hall
- ③ 技術棟  
Technical Service Center
- ④ 健康棟  
Health Education Hall
- ⑤ 芸術棟  
Arts Hall
- ⑥ 講義棟  
Lecture Hall
- ⑦ 附属図書館  
University Library
- ⑧ 総合学生支援棟 (コアステーション)  
General Student Services Building (Core Station)
- ⑨ 本部棟  
Administration Hall
- ⑩ 地域連携センター  
Center for Collaboration in Community
- ⑪ 体育館  
Gymnasium
- ⑫ 課外活動共用施設  
Club House
- ⑬ 講堂  
Auditorium
- ⑭ 大学会館  
University Hall
- ⑮ 学生宿舎  
Dormitories
- ⑯ 非常勤講師宿泊施設  
Guest House

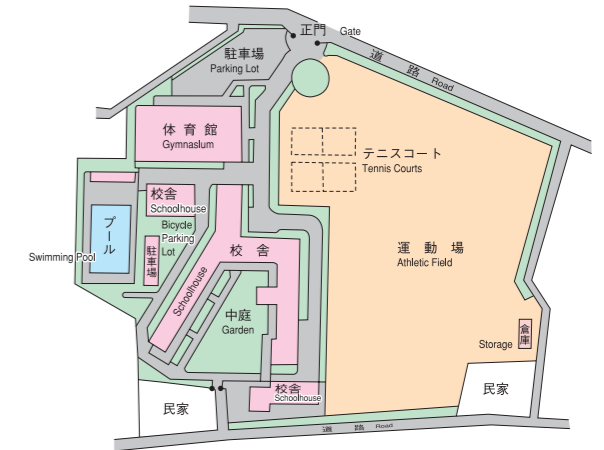


- ⑰ 艇庫  
Boathouse
- ⑱ 設備棟  
Maintenance Building
- ⑲ 廃水, 廃液処理施設  
Sewerage and Waste Water Disposal
- ⑳ 実験圃場  
Experimental Farm
- ㉑ 情報基盤センター  
Center for Information Technology Services
- ㉒ 弓道場  
Archery Range

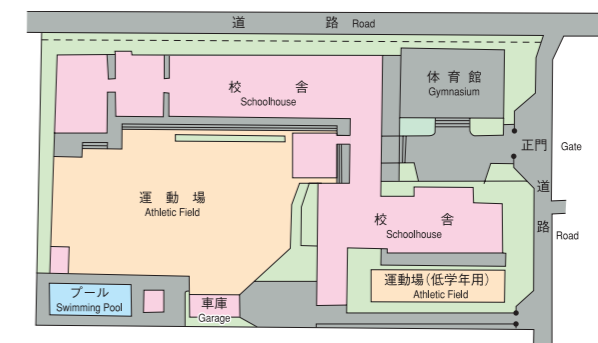
**附属幼稚園・附属小学校**  
University Attached Kindergarten and Elementary School



**附属中学校**  
University Attached Lower Secondary School



**附属特別支援学校**  
University Attached School for Disabled Children



大学全景  
Aerial View of the Campus



附属幼稚園・附属小学校  
University Attached Kindergarten and Elementary School



附属中学校  
University Attached Lower Secondary School



附属特別支援学校  
University Attached School for Disabled Children

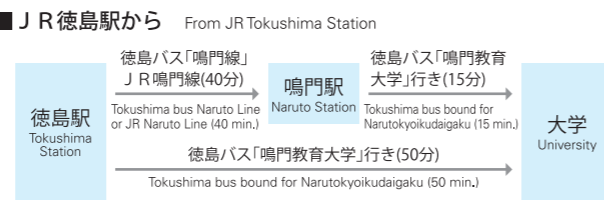


# 位置図 Location



## 交通機関 Transportation

- 飛行機** (Airplane)
- 東京(羽田)～徳島 [約1時間10分] Tokyo (Haneda)~Tokushima [70 minutes]
  - 福岡～徳島 [約1時間30分] Fukuoka~Tokushima [1.5 hours]
- 鉄道** (Railway)
- 岡山～池谷(特急) [約2時間] Okayama~Ikenotani (Express) [2 hours]
  - 高松～池谷(特急) [約1時間] Takamatsu~Ikenotani (Express) [1 hour]
- 高速バス** (Express Bus)
- 東京～高速鳴門(夜行) [約9時間] Tokyo~Naruto [9 hours]
  - 名古屋～高速鳴門 [約4時間30分] Nagoya~Naruto [4.5 hours]
  - 京都～高速鳴門 [約2時間30分] Kyoto~Naruto [2.5 hours]
  - 大阪～高速鳴門 [約2時間] Osaka~Naruto [2 hours]
  - 神戸～高速鳴門 [約1時間30分] Kobe~Naruto [1.5 hours]
- フェリー** (Ferryboat)
- 和歌山～徳島 [約2時間] Wakayama~Tokushima [2 hours]



# 所在地 Address of University and Attached Schools

名称	所在地	電話番号
事務組織 大学院学校教育研究科 学校教育学部 附属図書館 教職キャリア支援センター 長期履修学生支援センター 地域連携センター 情報基盤センター 小学校英語教育センター 教員教育国際協力センター 予防教育科学センター 生徒指導支援センター 心身健康センター いじめ防止支援機構	〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地	☎088-687-6000 (代表) FAX 088-687-6040
学生宿舎	〒772-0051 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島99番地の7	
附属幼稚園	〒770-0808 徳島県徳島市南前川町2丁目11番地の1	☎088-652-2349 FAX 088-625-1995
附属小学校	〒770-0808 徳島県徳島市南前川町1丁目1番地	☎088-623-0205 (代表) FAX 088-655-6414
附属中学校	〒770-0804 徳島県徳島市中吉野町1丁目31番地	☎088-622-3852 (代表) FAX 088-652-0122
附属特別支援学校	〒770-0803 徳島県徳島市上吉野町2丁目1番地	☎088-653-0151 (代表) FAX 088-625-1992
職員宿舎	〒772-0022 徳島県鳴門市里浦町粟津字西開168番地の2	

日本国外から連絡する場合には、国別コード“81”を付けるとともに、市外局番の“0”を取って使用してください。例えば代表番号は81-88-687-6000となります。

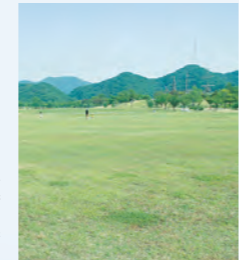
Facilities	Address	Phone Number
Administrative Organization Graduate School of Education College of Education University Library Center for Educational Career Development Center for Three-Year Master Course Study Students Center for Collaboration in Community Center for Information Technology Services Center for English Language Education at Elementary Schools International Cooperation Center for the Teacher Education and Training Center for the Science of Prevention Education Center for School Support of Guidance and Counseling Center for Health and Counseling Services Center of Organization for Research and Education (about Bullying Prevention)	748, Nakajima, Takashima, Naruto-cho, Naruto-shi, Tokushima-ken 772-8502	Phone 088-687-6000 FAX 088-687-6040
Dormitories	99-7, Nakajima, Takashima, Naruto-cho, Naruto-shi, Tokushima-ken 772-0051	
University Attached Kindergarten	2-11-1, Minami-maegawa-cho, Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0808	Phone 088-652-2349 FAX 088-625-1995
University Attached Elementary School	1-1, Minami-maegawa-cho, Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0808	Phone 088-623-0205 FAX 088-655-6414
University Attached Lower Secondary School	1-31, Naka-yoshino-cho, Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0804	Phone 088-622-3852 FAX 088-652-0122
University Attached School for Disabled Children	2-1, Kami-yoshino-cho, Tokushima-shi, Tokushima-ken 770-0803	Phone 088-653-0151 FAX 088-625-1992
Residence for Faculty and Staff	168-2, Nishibiraki, Awazu, Satoura-cho, Naruto-shi, Tokushima-ken 772-0022	

When attempting telephone/FAX access to the university from outside of Japan, enter Japan's country code "81" and take "0" out from the city code. For example, the phone number of the university from overseas is 81-88-687-6000.

**鳴門教育大学**は、瀬戸内海国立公園の区域内にあり、美しく落ち着いたキャンパスです。大阪梅田から高速バスで2時間で来られるということもあり、多くの観光客やお遍路さんが訪れています。鳴門教育大学は、鳴門市と学園都市化を目指す協定を締結し、地域の教育にも貢献しています。

**鳴門ウチノ海総合公園**

学生宿舎「うず瀬村」のそばにあります。テニス、フットサルなどが楽しめる多目的コート他、バーベキューやキャンプ場が整備されており、学生や家族連れでにぎわっています。



**渦の道**

世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」でトップレベルと認められた観光スポット。海上45メートルのガラス床からのぞき込む渦潮は吸い込まれそうでスリル満点です。



**鳴門公園** **大鳴門橋**

鳴門国際美術館



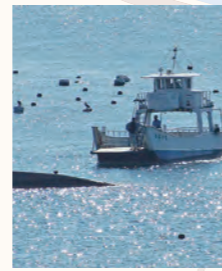
**大塚国際美術館**

世界の名画を陶板画で再現した美術館。世界25ヶ国190余りの美術館が所蔵する西洋名画1000余点を、陶板で原寸大に再現し展示しています。観光客に大人気のスポットです。



**渡し船**

鳴門の渡し船は、地域の足としてしっかり使われている、いわば生きた乗り物。黒崎渡船は、高島に住んでいる人たちが高島にある大学に通う人でにぎわっています。



**鳴門市ドイツ館**

「板東俘虜収容所」での収容所職員をはじめ、地元住民とドイツ兵とが築いた親交・友情を記念して作られました。ワイン祭りやビール祭り、クリスマスマーケットなど各種イベントも頻繁に催されています。



**鳴門教育大学**



**大谷焼の里**

鳴門の伝統工芸大谷焼。水瓶などの大物陶器が有名です。ロクロ体験や、絵付け・作陶体験などができます。




**ガレの森美術館**

ガラスの魔術師 エミール・ガレのガラス作品を所蔵、作品100余点のうち、常時20余点を展示公開しています。また、アールヌーボー期に活躍した作家のランプなども見ることができます。




**霊山寺**

四国八十八箇所霊場の第一番札所。天平年間に聖武天皇の勅願で僧行基（ぎょうき）が開基したといわれています。四国八十八箇所霊場の第一番札所であり、一年をとおして、お遍路さんににぎわっています。



**賀川豊彦記念館**

賀川豊彦は、その生涯を友愛、相互、平和のために捧げた世界の偉人です。さまざまな活動と時代背景などが写真パネルや年表で分かりやすく紹介されています。



**鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアム**

四国初のJ1クラブとして2014シーズンを戦った徳島ヴォルティスのホームスタジアム。試合には毎回多くのサポーターが集まり、スタジアムは応援の熱気に包まれています。



**鳴門市阿波踊り**

鳴門市の阿波踊りは、県下のトップを切って3日間華やかに行われます。毎日約30連が大乱舞。毎年、有名芸能人や声優さんたちが多く参加し、街中が活気に満ちあふれます。






教育の一番札所



国立大学法人

鳴門教育大学

「教育の一番札所」

標語は、「教員養成は鳴門から、そして全国へ」という意を込め、  
本学としての使命と責任を明らかにするため、「教育の一番札所」  
とした。

発行 鳴門教育大学経営企画本部

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地

TEL 088-687-6000（代表）

URL <http://www.naruto-u.ac.jp/>

Published by Department of Management planning,  
Naruto University of Education